

岐阜県警察県民アンケート調査結果

令和元年

岐阜県警察本部

目 次

I	調査概要	1
1. 1	調査の目的	1
1. 2	調査項目	1
1. 3	調査の設計	1
1. 4	回収結果	1
1. 5	標本誤差	2
1. 6	見方	2
II	調査結果	3
2. 1	治安に関する印象について	3
問1	最近の治安について	3
問2	治安が悪くなったと感じる理由	3
2. 2	県警察に関する印象について	4
問3	岐阜県警察に対する印象	4
問4	県警察に対する印象を持つことになった理由	4
問5	県警察に対する印象は、どのような場面からか	4
2. 3	県警察への要望について	5
問6	県警察に力を入れてほしい活動	5
2. 4	相談に対する調査について	5
問7	相談窓口について	5
問8	県警察に相談した内容	6
問9	相談に対する県警察の対応	7
問10	不満を感じたこと	7
2. 5	県警察の広報に関する調査について	8
問11	県警察のホームページの閲覧、活用について	8
問12	内容は充実しているか	8

問13	使いやすいと思ったか	8
問14	警察活動に関する情報入手について	8
2.6	被害者支援について	10
問15	犯罪について	10
問16	届出について	10
問17	届けなかった理由	11
問18	犯罪被害者等支援条例	11
2.7	警察業務一般について	12
問19	県警察に対する信頼度	12
問20	警察官の応接態度	12
問21	先端技術を活用する上で、重要なこと	13
問22	強化してほしい活動	13
問23	交番、駐在所の印象	13
問24	「巡回連絡活動」について	14
問25	地域警察官の勤務について	15
問26	地域警察官の勤務配置について	15
問27	「110番」、「#9110」について	16
問28	インターネット利用に関するトラブルについて	16
問29	インターネット利用について不安を感じること	17
問30	不安に思う犯罪	17
問31	メディアについて	18
問32	力を入れるべきこと	19
問33	フィルタリングについて	19
問34	「安心・安全メール」について	20
問35	利用しないと回答した理由	20
問36	情報提供について有効な方法	21
問37	情報をいただくために有効な方法	21

問38	ニセ電話詐欺を見破るキーワード.....	21
問39	交通事故を防ぐために有効な対策.....	22
問40	反射材の活用.....	23
問41	活用していない理由.....	23
問42	高齢者の交通事故を防止するために、有効な対策.....	24
問43	◇（ダイヤモンド）の意味.....	24
問44	テロの不安を感じる場所.....	25
問45	災害に関する情報.....	25
問46	県警察に期待したい活動.....	25

I 調査概要

1. 1 調査の目的

県下全域の県民意識の把握とともに岐阜県警察に対する県民の関心、満足度などを調査し、今後の業務全般の基礎資料とすることを目的に実施。

1. 2 調査項目

- (1) 治安に関する印象について
- (2) 県警察に関する印象について
- (3) 県警察への要望について
- (4) 相談に対する調査について
- (5) 県警察の広報に関する調査について
- (6) 被害者支援について
- (7) 警察業務一般について

1. 3 調査の設計

- (1) 調査地域 岐阜県全域
- (2) 調査対象 県内に居住する満18歳以上の男女個人
- (3) 標本数 3,000人
- (4) 調査地点数 200地点
- (5) 抽出方法 層化二段無作為抽出法
- (6) 調査方法 郵送法
- (7) 調査時期 令和元年6月18日～7月9日
- (8) 調査実施機関 株式会社中部タイム・エージェント

1. 4 回収結果

標本数 (A)	回収数 (B)	有効回答数 (C)	回収率 (B/A)	有効回答率 (C/A)
3,000	1,586	1,586	52.9%	52.9%

1. 5 標本誤差

調査結果には統計上多少の誤差が生じることがあるため、調査結果をみる場合、一定の幅を持たせてみる必要がある。その幅を標本誤差といい、以下の式で表される。

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \sqrt{\frac{P(100-P)}{n}} \quad (\text{ただし、} P : \text{回答比率} \quad n : \text{回答者数})$$

すなわち、標本誤差の幅は①回答者数 (n) 及び②回答比率 (P) によって異なる。上式を用いた各回答者数、回答比率における標本誤差を以下の表に示す。

		P (回答比率 %)									
		5 又 は 95	10 又 は 90	15 又 は 85	20 又 は 80	25 又 は 75	30 又 は 70	35 又 は 65	40 又 は 60	45 又 は 55	50
総数	1,586	1.1	1.5	1.8	2.0	2.1	2.3	2.3	2.4	2.4	2.5

(注) 1.層化を行った場合、誤差は上表より若干増減することもある。

2.この表の見方は以下のとおりである。

「ある設問の回答者数が 1,586 人であり、その設問中の選択肢の回答比率が 50%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±2.5%である。」

1. 6 見方

- (1) 比率は全てパーセントで表し、小数点第 2 位を四捨五入して算出した。そのため、パーセントの合計が 100.0%にならない場合がある。
- (2) 基数となるべき実数は「n」(件数)として掲載した。したがって比率は、n を 100%として算出している。
- (3) 複数回答が可能な設問では総回答数を「N」として掲載した。その場合、その項目を選んだ人が、回答者全体のうち何%を占めるのかという見方をする。したがって、各項目の比率の合計は、通常 100%を超える。
- (4) 本文中の表、グラフ、及び本文で使われている選択肢の表現は、本来の意味を損なわない程度に省略している場合がある。
- (5) 本文中のグラフにおいて、0%のデータラベルは非表示としている。

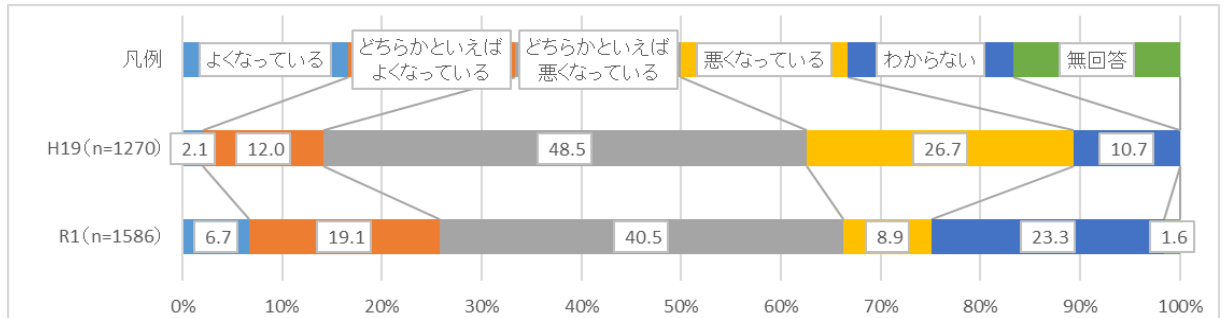
II 調査結果

2. 1 治安に関する印象について

問1 最近の治安について、どのように感じていますか。

- 令和元年では平成19年に比べ、「よくなっている」が4.6ポイント、「どちらかといえばよくなっている」が7.1ポイント、それぞれ増加している。また、「どちらかといえば悪くなっている」が8.0ポイント、「悪くなっている」17.8ポイント、それぞれ減少している。

○全体（経年変化）

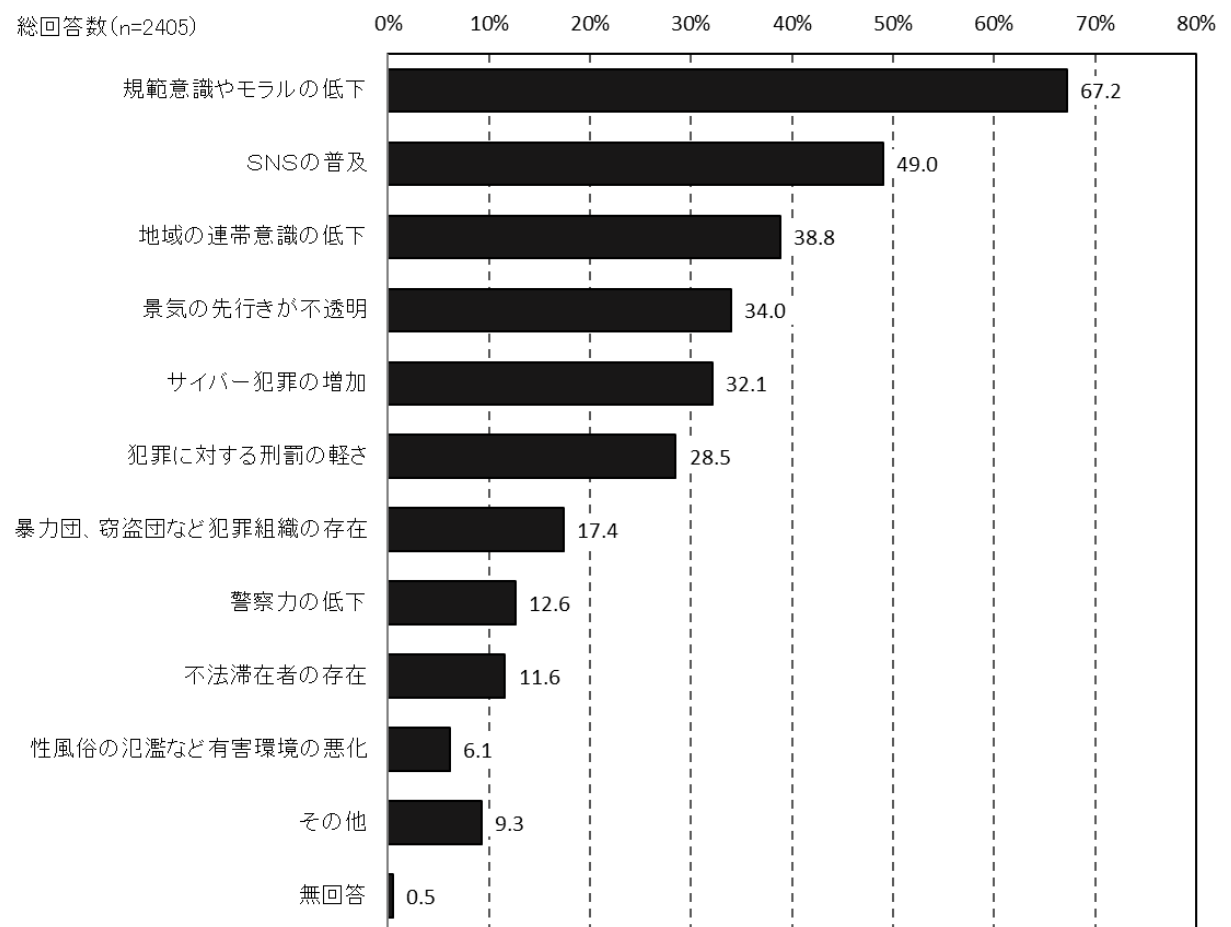


問2 「どちらかといえば悪くなっている」「悪くなっている」と感じる理由は何ですか。（複数回答）

- 「規範意識やモラルの低下」が67.2%と最も高く、次いで「SNSの普及」（49.0%）、「地域の連帯意識の低下」（38.8%）の順となっている。

回答者数 (n=783)

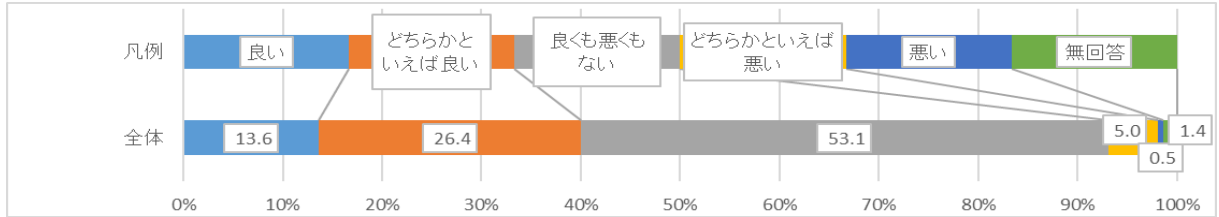
総回答数 (n=2405)



2. 2 県警察に関する印象について

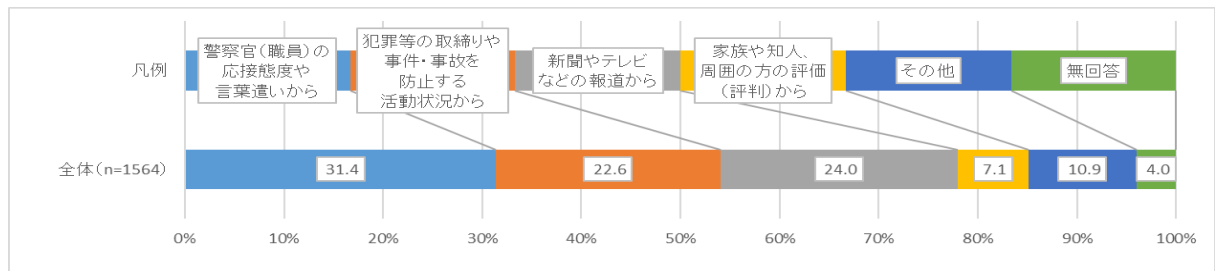
問3 岐阜県警察にどのような印象をお持ちですか。

- 「良くも悪くもない」が53.1%と最も高く、次いで「どちらかといえば良い」(26.4%)、「良い」(13.6%)の順となっている。



問4 問3で選択した印象を持つことになった理由は何ですか。

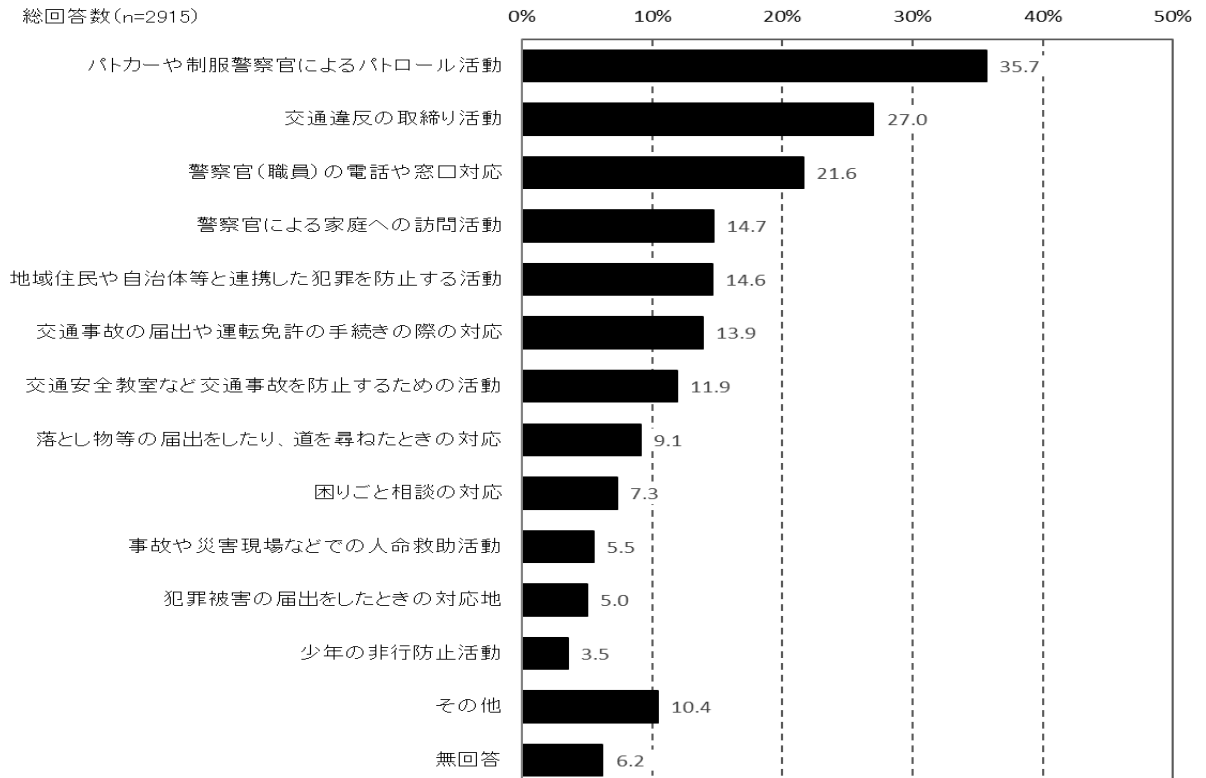
- 警察官(職員)の応接態度や言葉遣いから」が31.4%と最も高く、次いで「新聞やテレビなどの報道から」(24.0%)、「犯罪等の取締りや事件・事故を防止する活動状況から」(22.6%)の順となっている。



問5 問3で選択した印象は、どのような場面から持つことになりましたか。(複数回答)

- 「パトカーや制服警察官によるパトロール活動」が35.7%と最も高く、次いで「交通違反の取締り活動」(27.0%)、「警察官(職員)の電話や窓口対応」(21.6%)の順となっている。

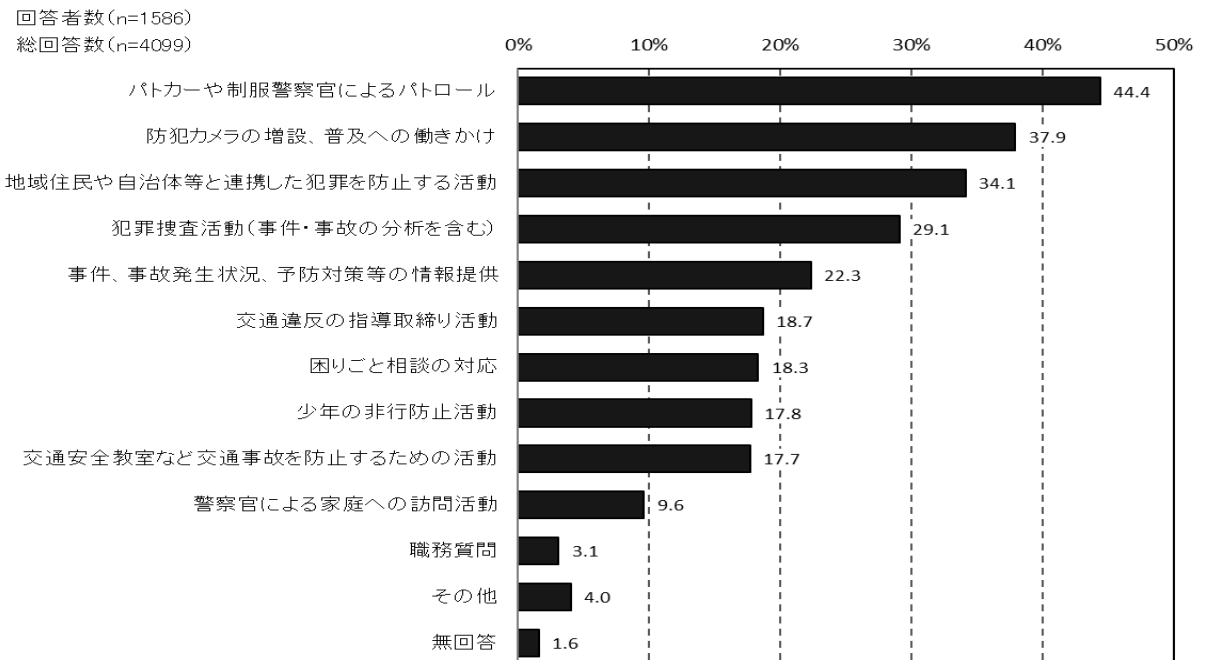
回答者数(n=1564)
総回答数(n=2915)



2. 3 県警察への要望について

問6 県警察に特に力を入れてほしいと思う活動は何ですか。(複数回答)

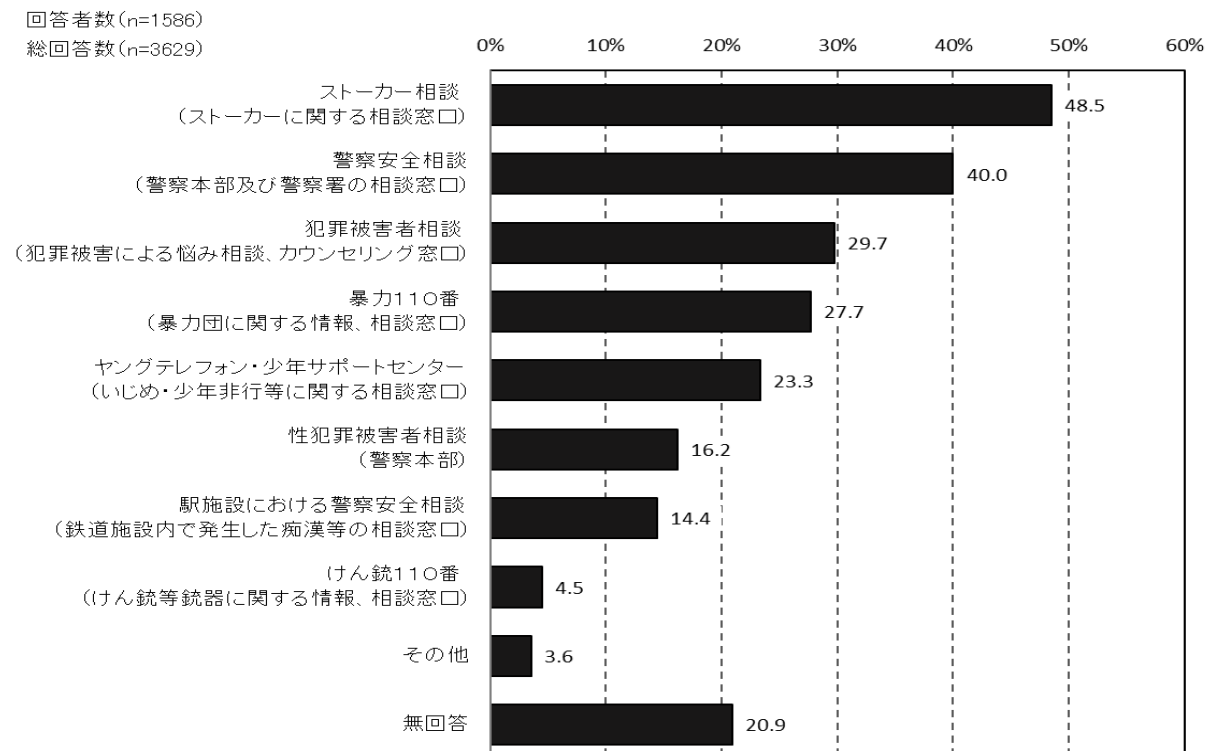
➤ 「パトカーや制服警察官によるパトロール」が44.4%と最も高く、次いで「防犯カメラの増設、普及への働きかけ」(37.9%)、「地域住民や自治体等と連携した犯罪を防止する活動」(34.1%)の順となっている。



2. 4 相談に対する調査

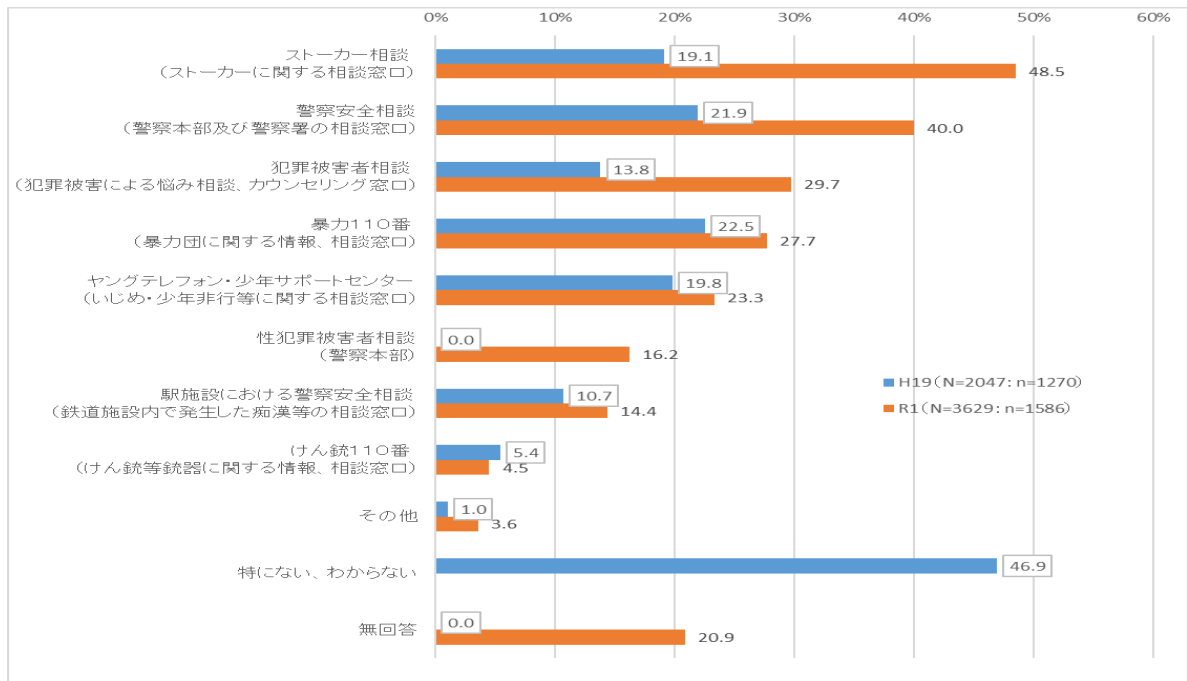
問7 知っている県警察の相談窓口は何ですか。(複数回答)

➤ 「ストーカー相談(ストーカーに関する相談窓口)」が48.5%と最も高く、次いで「警察安全相談(警察本部及び警察署の相談窓口)」(40.0%)、「犯罪被害者相談(犯罪被害による悩み相談、カウンセリング窓口)」(29.7%)の順となっている。



〈前回調査との比較〉

- 令和元年では平成19年と比べ、「ストーカー相談（ストーカーに関する相談窓口）」が29.4ポイント、「警察安全相談（警察本部及び警察署の相談窓口）」が18.1ポイント、「犯罪被害者相談（犯罪被害による悩み相談、カウンセリング窓口）」が15.9ポイントそれぞれ増加している。

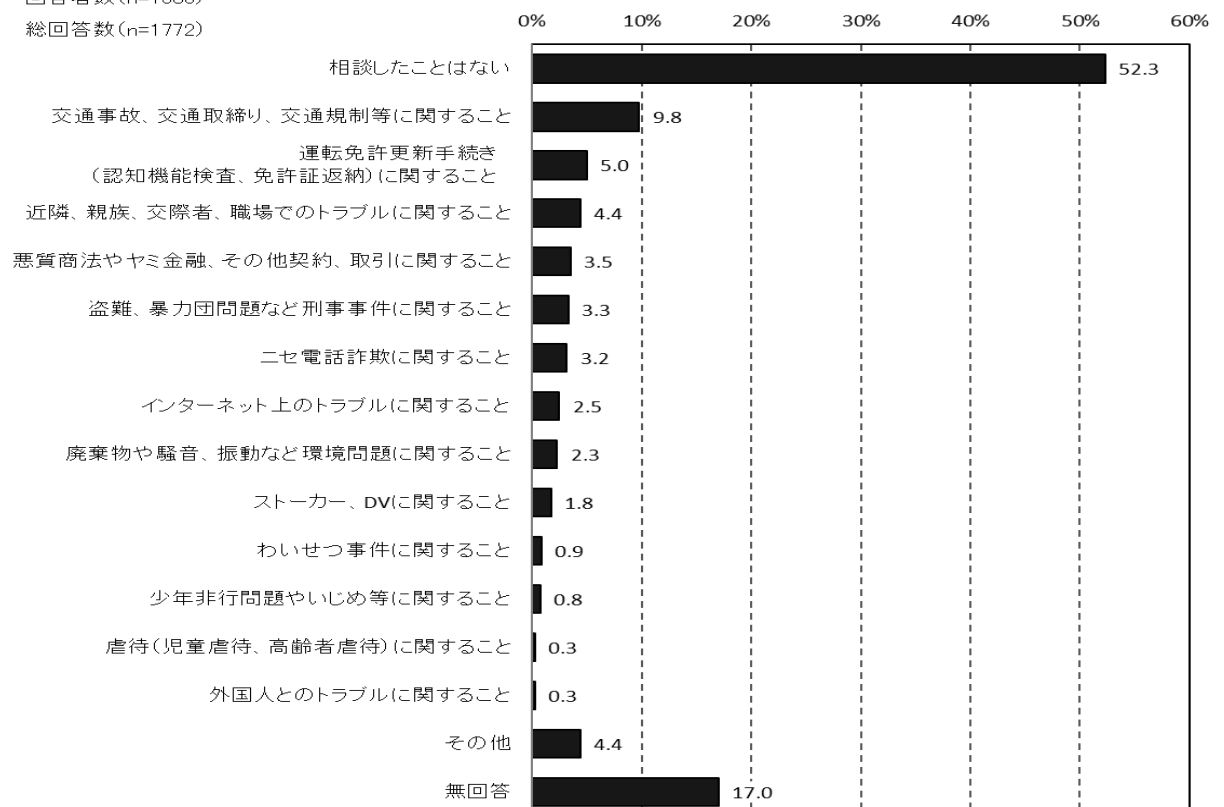


問8 県警察に困りごとや事件などの相談をしたことがありますか。あれば、どのような内容でしたか。(複数回答)

- 「相談したことはない」が52.3%と最も高く、次いで「交通事故、交通取締り、交通規制等に関する事」（9.8%）、「運転免許更新手続き（認知機能検査、免許証返納）に関する事」（5.0%）の順となっている。

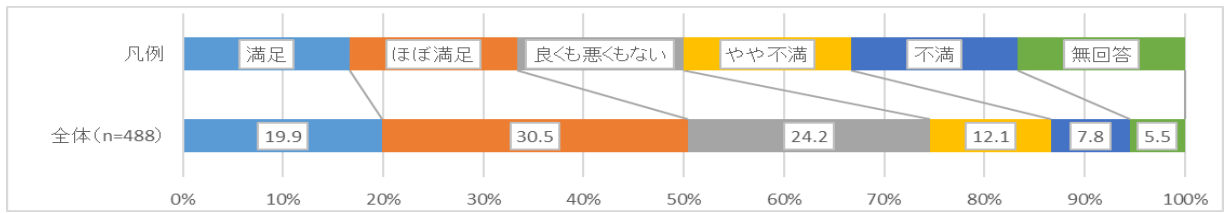
回答者数 (n=1586)

総回答数 (n=1772)



問9 相談に対する県警察の対応はいかがでしたか。

➤ 「ほぼ満足」が30.5%と最も高く、次いで「良くも悪くもない」(24.2%)、「満足」(19.9%)の順となっている。

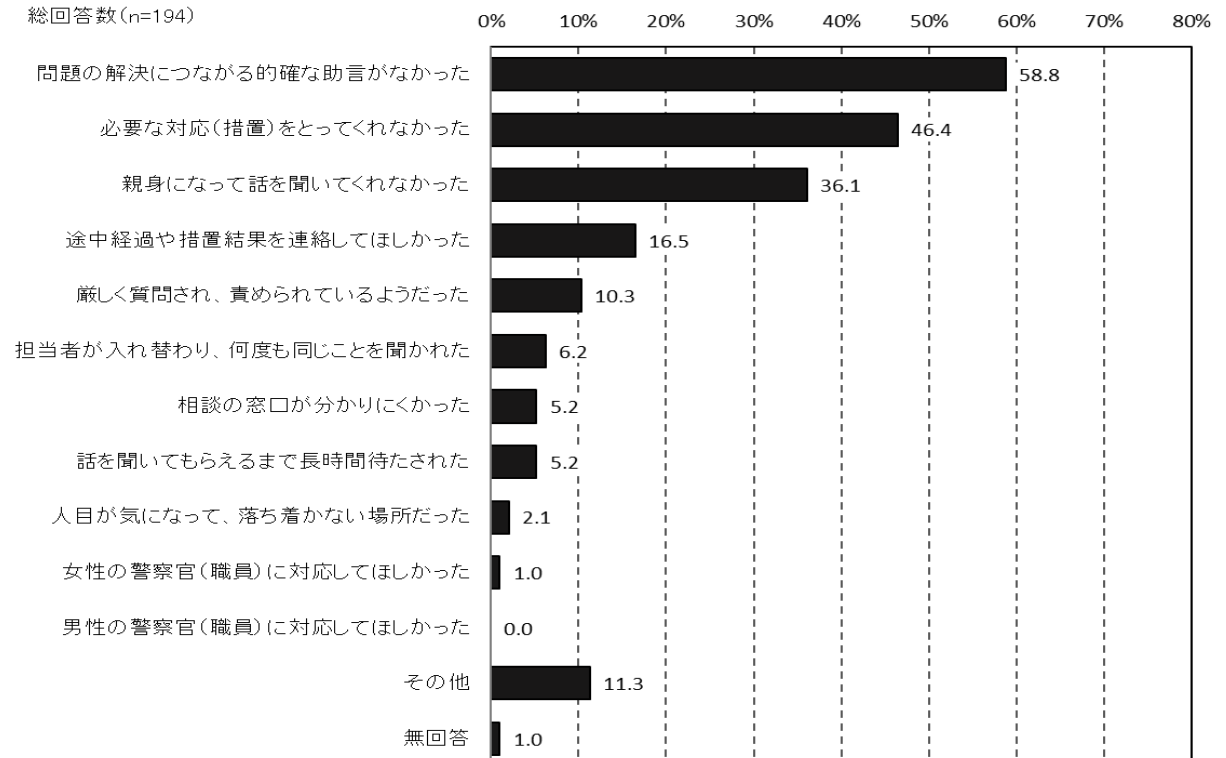


問10 「やや不満」「不満」と回答した方は特にどのようなことに不満を感じましたか。(複数回答)

➤ 「問題の解決につながる的確な助言がなかった」が58.8%と最も高く、次いで「必要な対応(措置)をとってくれなかった」(46.4%)、「親身になって話を聞いてくれなかった」(36.1%)の順となっている。

回答者数(n=97)

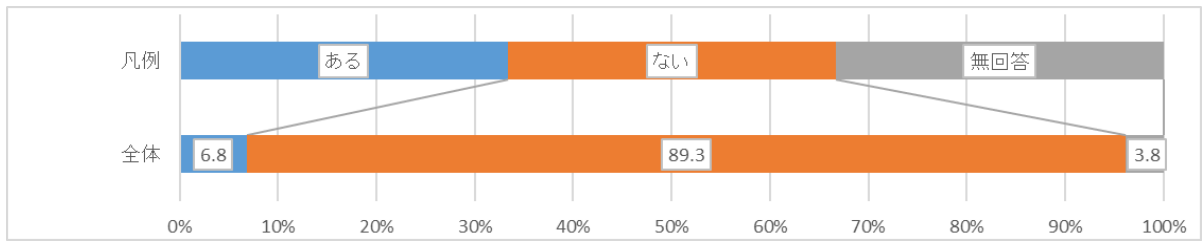
総回答数(n=194)



2. 5 県警察の広報に関する調査について

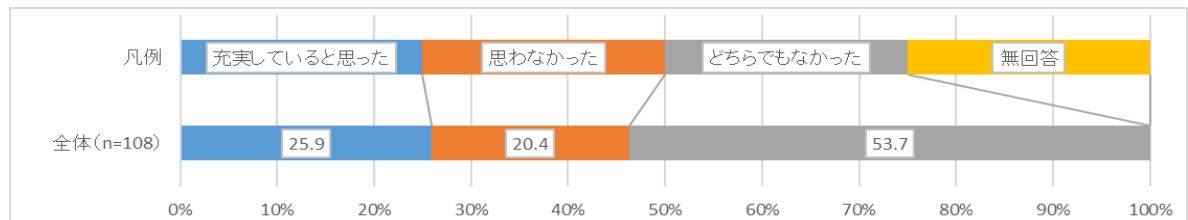
問11 県警察のホームページを閲覧、または活用したことがありますか。

➤ 「ない」が89.3%、「ある」が6.8%となっている。



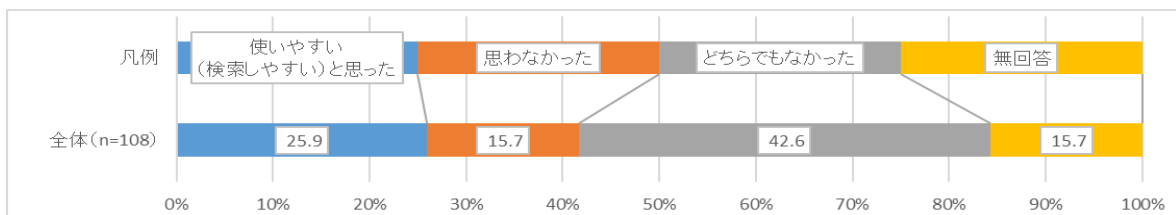
問12 『ある』と答えた方は、内容が充実していると思いませんか。

➤ 「どちらでもなかった」が53.7%と最も高く、次いで「充実していると思った」(25.9%)、「思わなかった」(20.4%)の順となっている。



問13 『ある』と答えた方は、使いやすいと思いませんか。

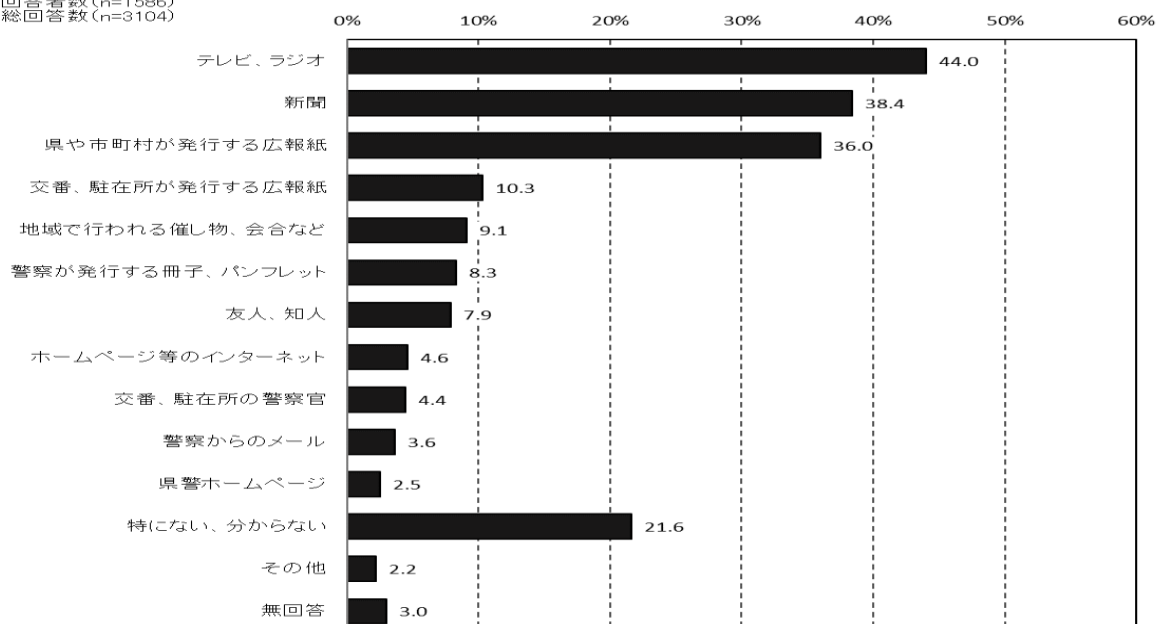
➤ 「どちらでもなかった」が42.6%と最も高く、次いで「使いやすい(検索しやすい)と思った」(25.9%)、「思わなかった」(15.7%)の順となっている。



問14 どのようにして警察活動に関する情報を入手していますか。(複数回答)

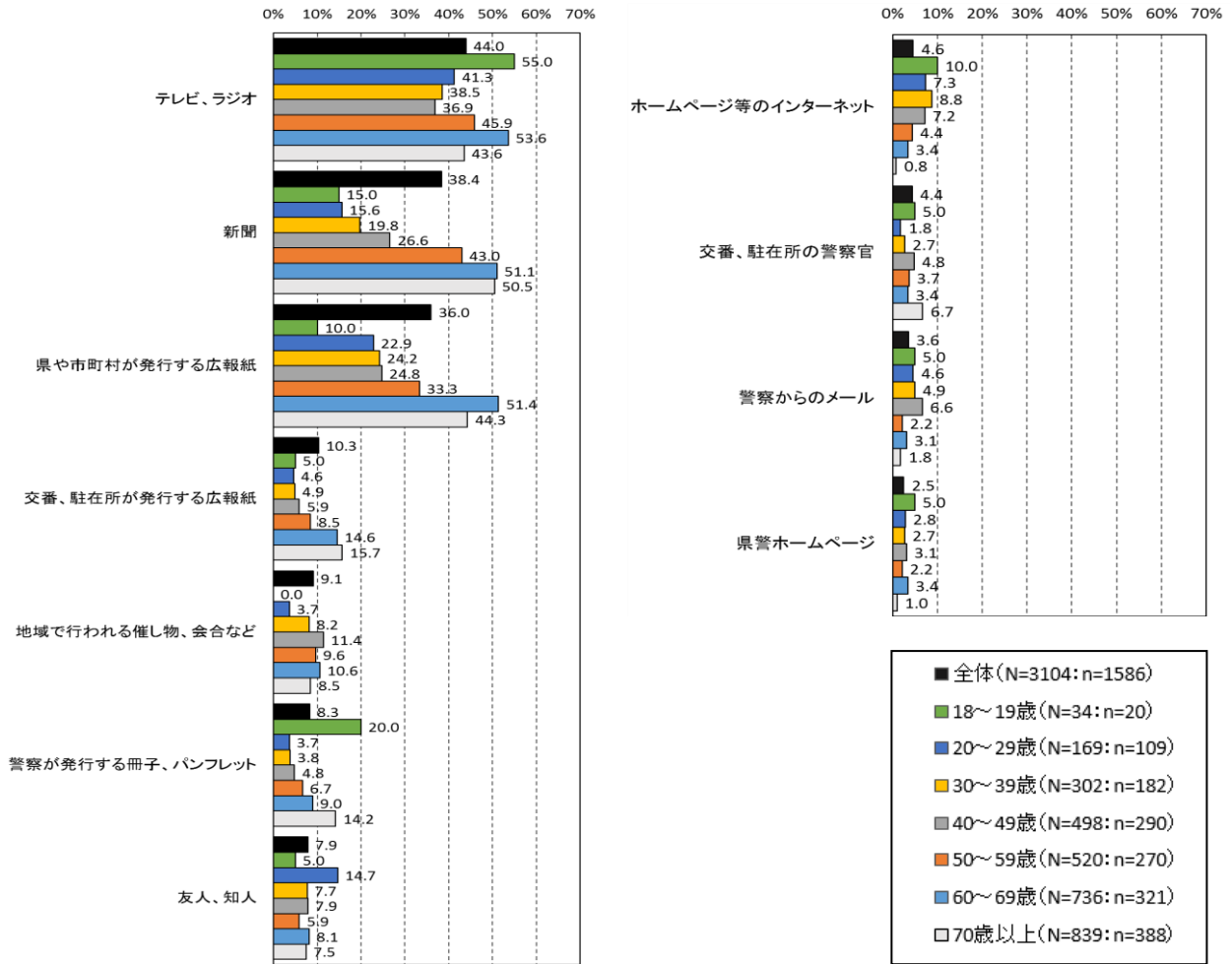
➤ 「テレビ、ラジオ」が44.0%と最も高く、次いで「新聞」(38.4%)、「県や市町村が発行する広報紙」(36.0%)の順となっている。

回答者数(n=1586)
総回答数(n=3104)



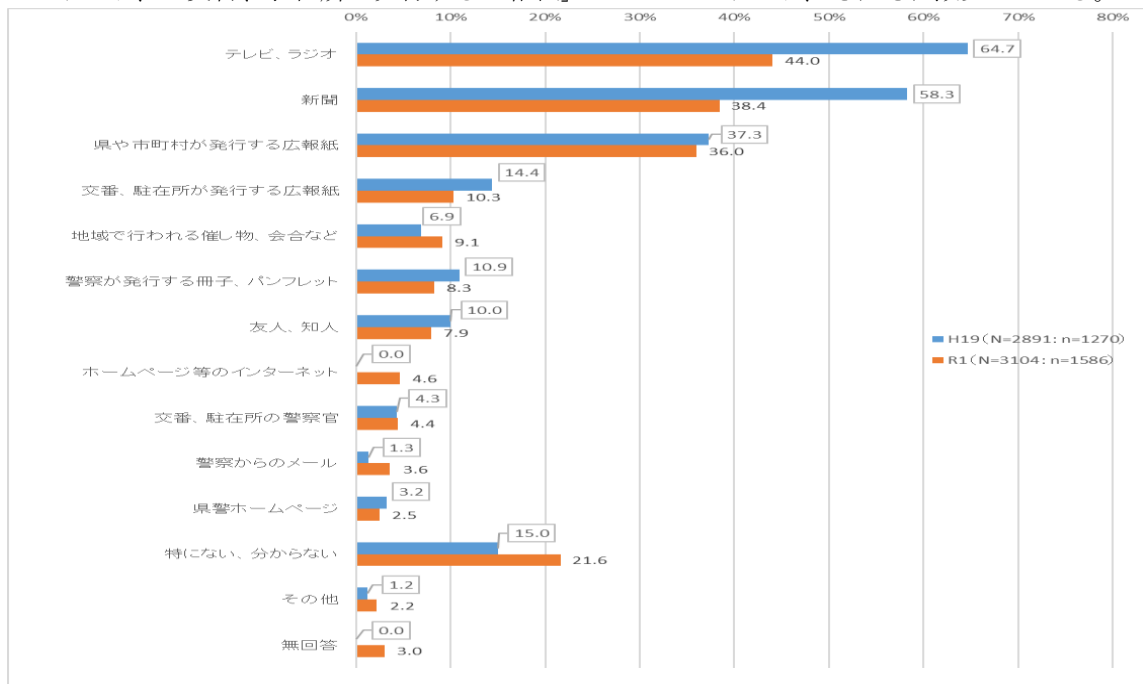
○全体（年代別）

➤ 年代別でみると、70歳以上を除くいずれの年代においても「テレビ、ラジオ」が最も高く、そのうち10歳代が55.0%と最も高くなっている。70歳以上では「新聞」が50.5%と最も高くなっている。



〈前回調査との比較〉

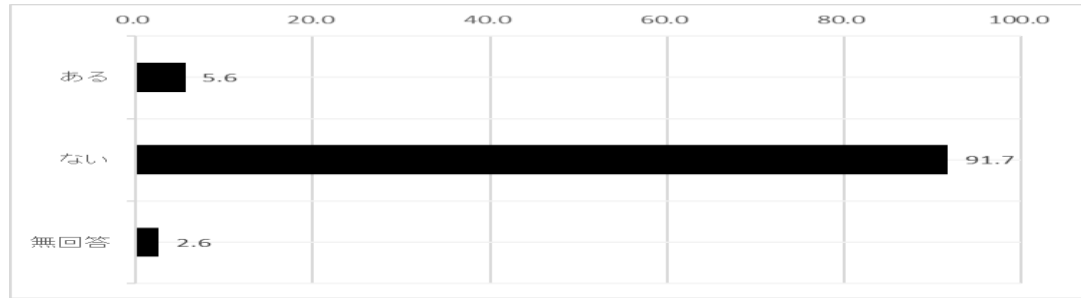
➤ 令和元年では平成19年に比べて「テレビ、ラジオ」が20.7ポイント、「新聞」が19.9ポイント、「交番、駐在所が発行する広報紙」が4.1ポイント、それぞれ減少している。



2. 6 被害者支援について

問15 過去1年間に犯罪被害に遭ったこと、又は、犯罪に巻き込まれる危険を感じたことがありますか。

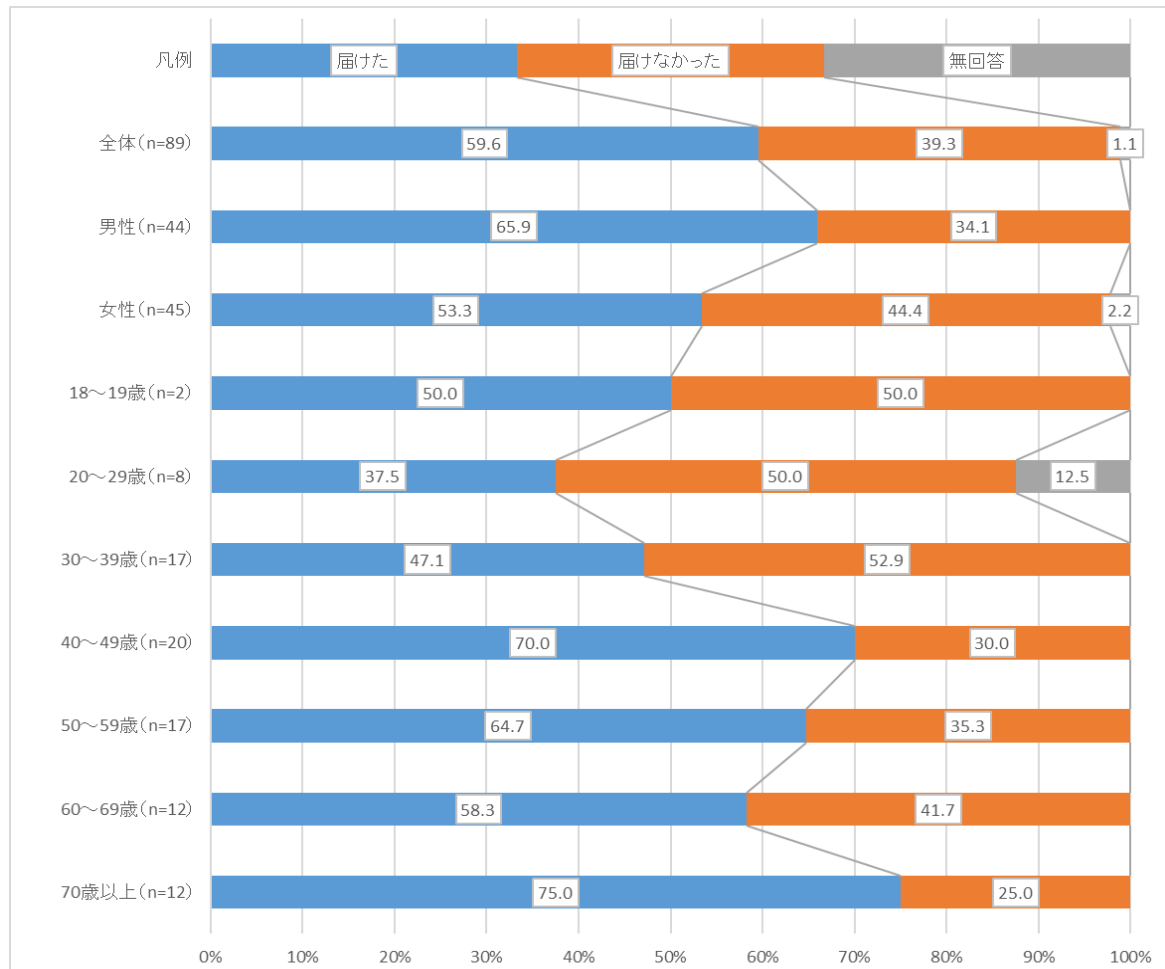
➤ 「ない」が91.7%、「ある」が5.6%となっている。



問16 「ある」と回答した方は、警察へ届出をしましたか。

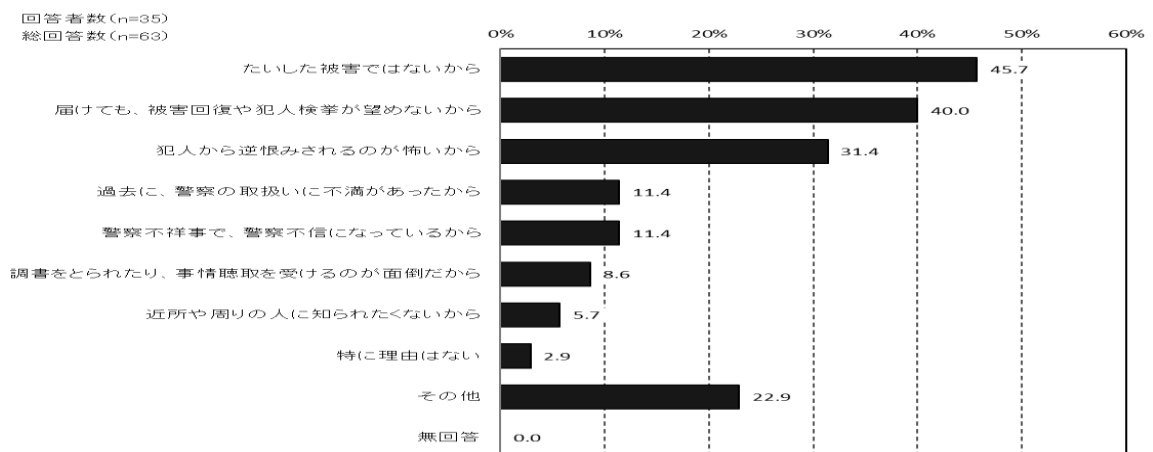
- 全体で見ると、「届けた」が59.6%、「届けなかった」が39.3%となっている。
 - 性別で見ると、男女ともに「届けた」が高く、男性が65.9%、女性が53.3%で男性が女性より12.6ポイント高くなっている。
 - 年代別で見ると、20歳代、30歳代を除くいずれの年代においても「届けた」が高く、そのうち70歳以上が75.0%と最も高くなっている。「届けなかった」は、20歳代が50.0%、30歳代が52.9%と高くなっている。
- ※10歳代は母数が少ないため、参考値とする。

○全体（男女別、年代別）



問17 問16で「届けなかった」方は、その理由は何ですか（複数回答）

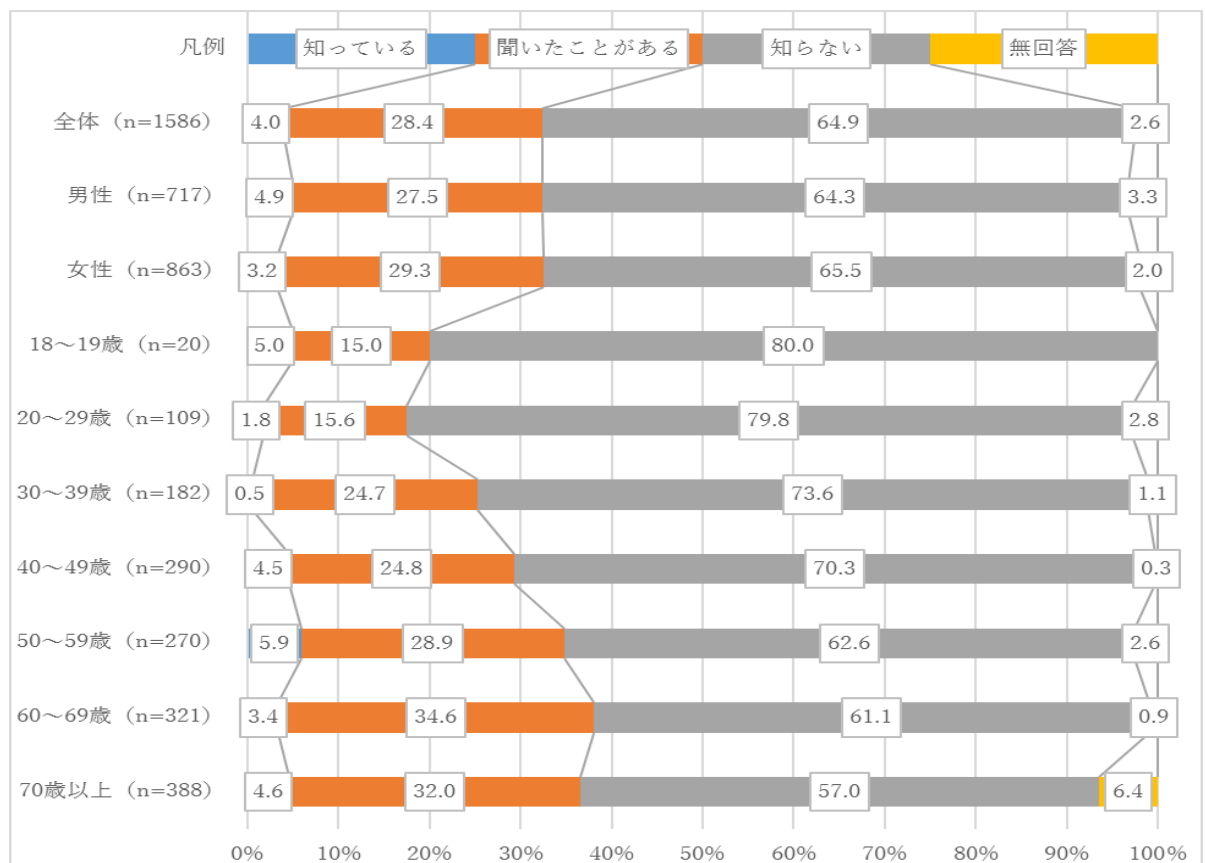
- 「たいした被害ではないから」が45.7%と最も高く、次いで「届けても、被害回復や犯人検挙が望めないから」（40.0%）、「犯人から逆恨みされるのが怖いから」（31.4%）の順となっている。



問18 犯罪被害者等支援条例を知っていますか。

- 全体で見ると、「知らない」が64.9%と最も高く、次いで「聞いたことがある」（28.4%）、「知っている」（4.0%）の順となっている。
- 性別で見ると、男女ともに「知らない」が最も高く、男性が64.3%、女性が65.5%となっている。
- 年代別で見ると、いずれの年代においても「知らない」が最も高く、そのうち10歳代が80.0%、次いで20歳代が79.8%と高くなっている。「聞いたことがある」では60歳代が34.6%と最も高く、次いで70歳以上が32.0%と高くなっている。

○全体（男女別、年代別）

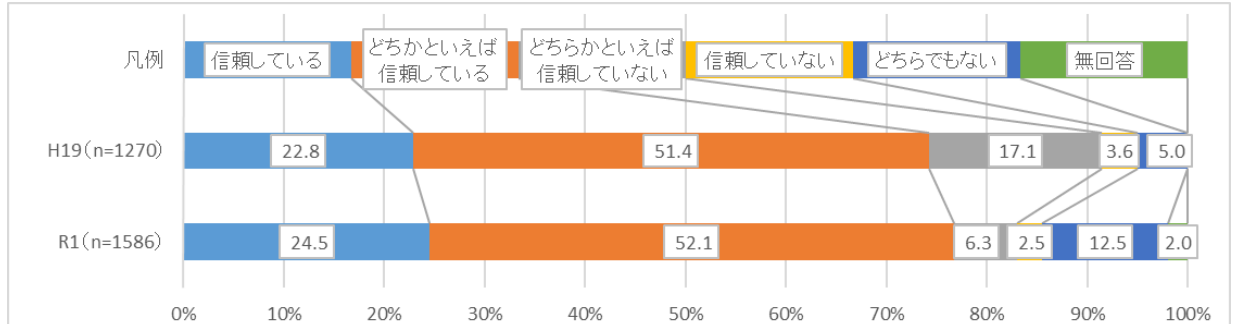


2. 7 警察業務一般について

問19 県警察に対する信頼度について、今の気持ちに一番近いものはどれですか。

- 令和元年では平成19年に比べて「信頼している」が1.7ポイント、「どちらかといえば信頼している」が0.7ポイント、それぞれ増加している。また、「どちらかといえば信頼していない」が10.8ポイント、「信頼していない」が1.1ポイント、それぞれ減少している。

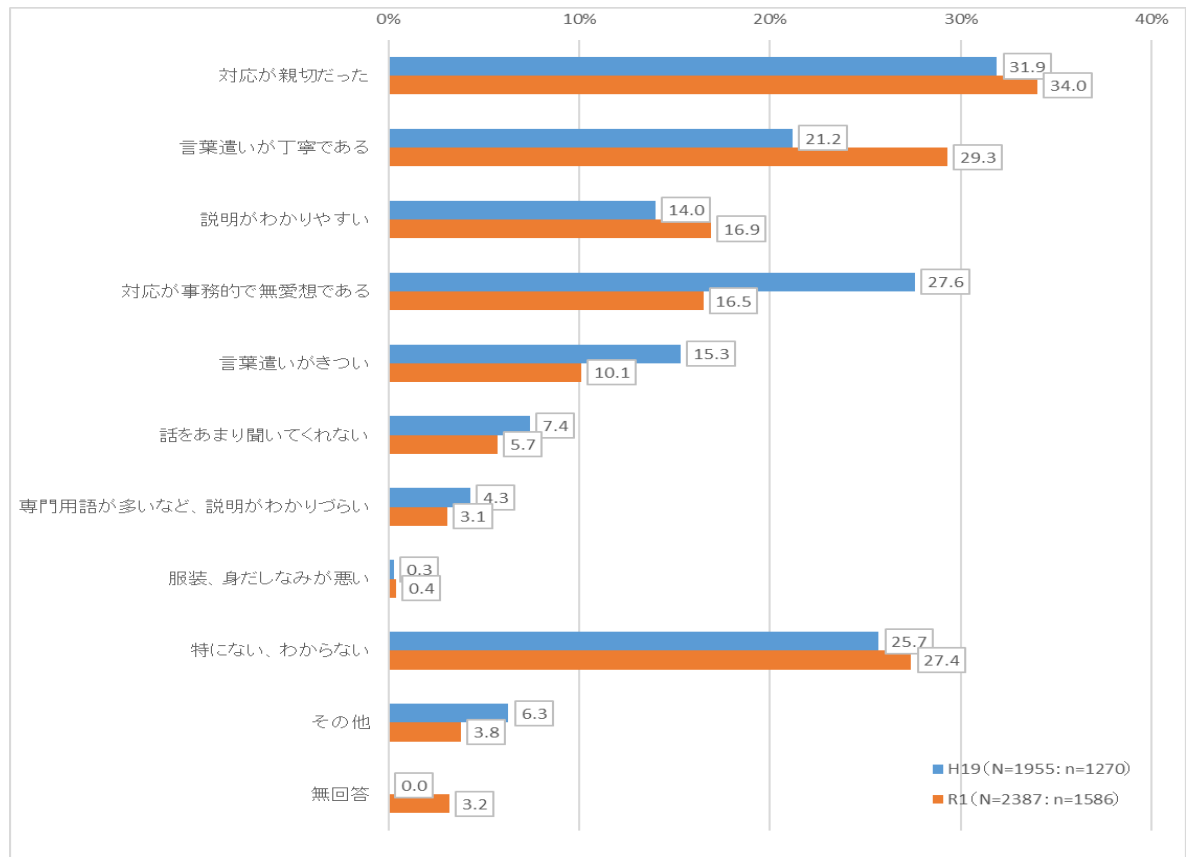
○全体（経年変化）



問20 警察官の応接態度にどのような印象を持っていますか。（複数回答）

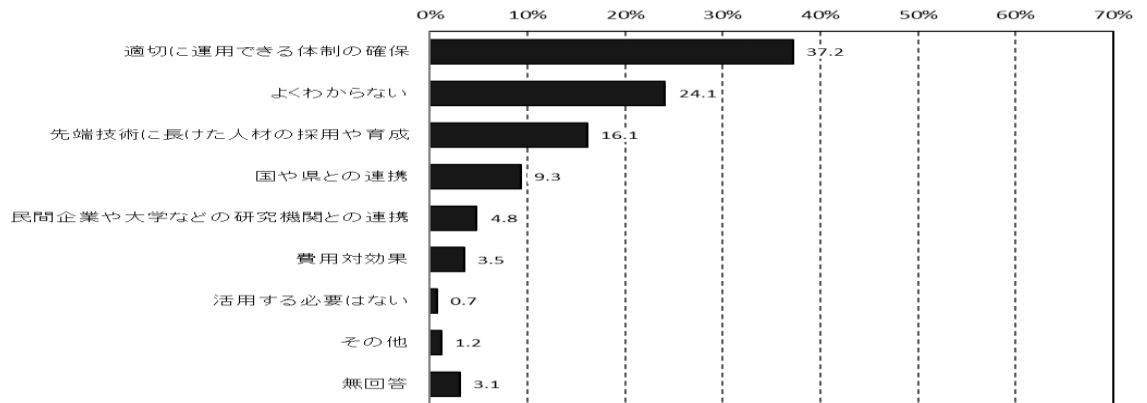
- 令和元年では平成19年に比べ、「対応が親切だった」では2.1ポイント、「言葉遣いが丁寧である」では8.1ポイント、それぞれ増加している。また、「対応が事務的で無愛想である」では11.1ポイント、「言葉遣いがきつい」では5.2ポイント、それぞれ減少している。

○全体（経年変化）



問21 警察活動に先端技術を活用する上で、何が重要だと思いますか。

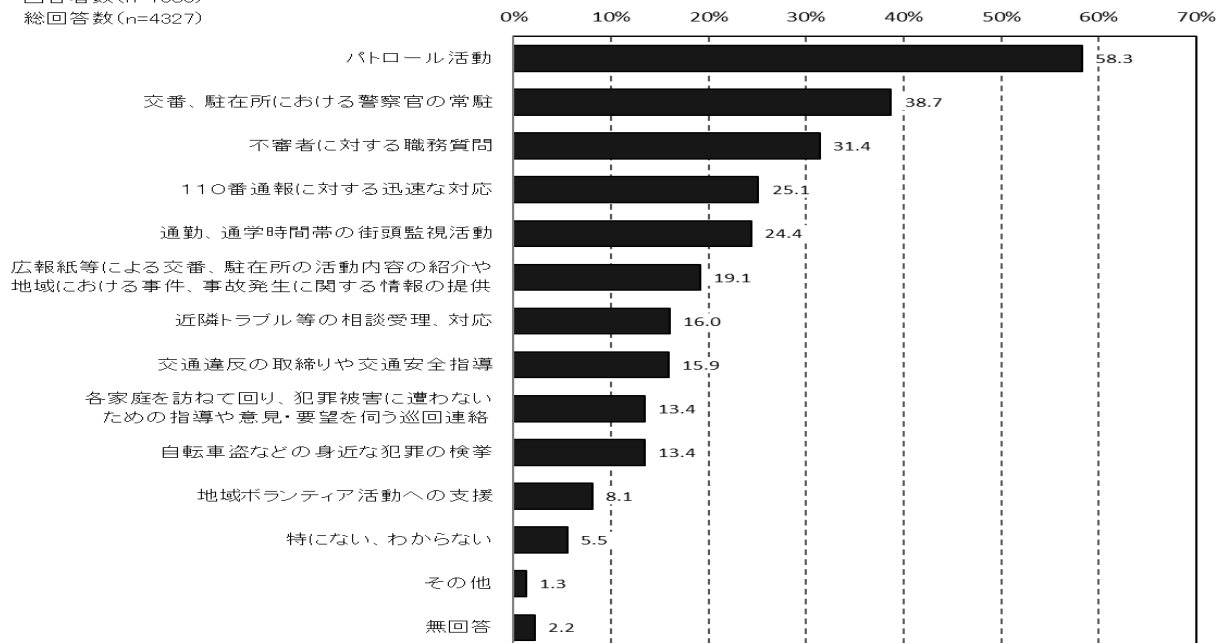
- 「適切に運用できる体制の確保」が37.2%と最も高く、次いで「よくわからない」（24.1%）、「先端技術に長けた人材の採用や育成」（16.1%）の順となっている。



問22 交番・駐在所の警察官にどのような活動を強化してほしいと思いますか。（複数回答）

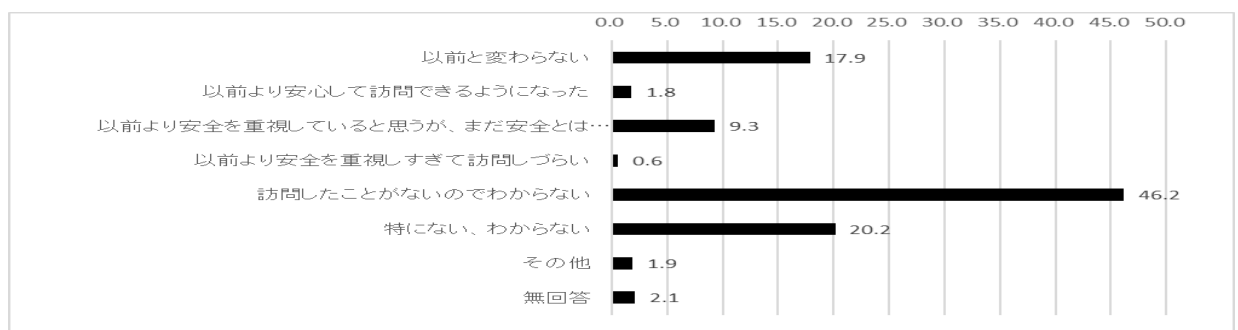
- 「パトロール活動」が58.3%と最も高く、次いで「交番、駐在所における警察官の常駐」（38.7%）、「不審者に対する職務質問」（31.4%）の順となっている。

回答者数(n=1586)
総回答数(n=4327)



問23 昨年、富山県や宮城県で発生した交番襲撃事件を受け、県警察では交番、駐在所に防犯カメラを整備するなど安全強化を進めていますが、最近の交番、駐在所の印象についてどう思いますか。

- 「訪問したことがないのでわからない」が46.2%と最も高く、次いで「特にない、わからない」（20.2%）、「以前と変わらない」（17.9%）の順となっている。

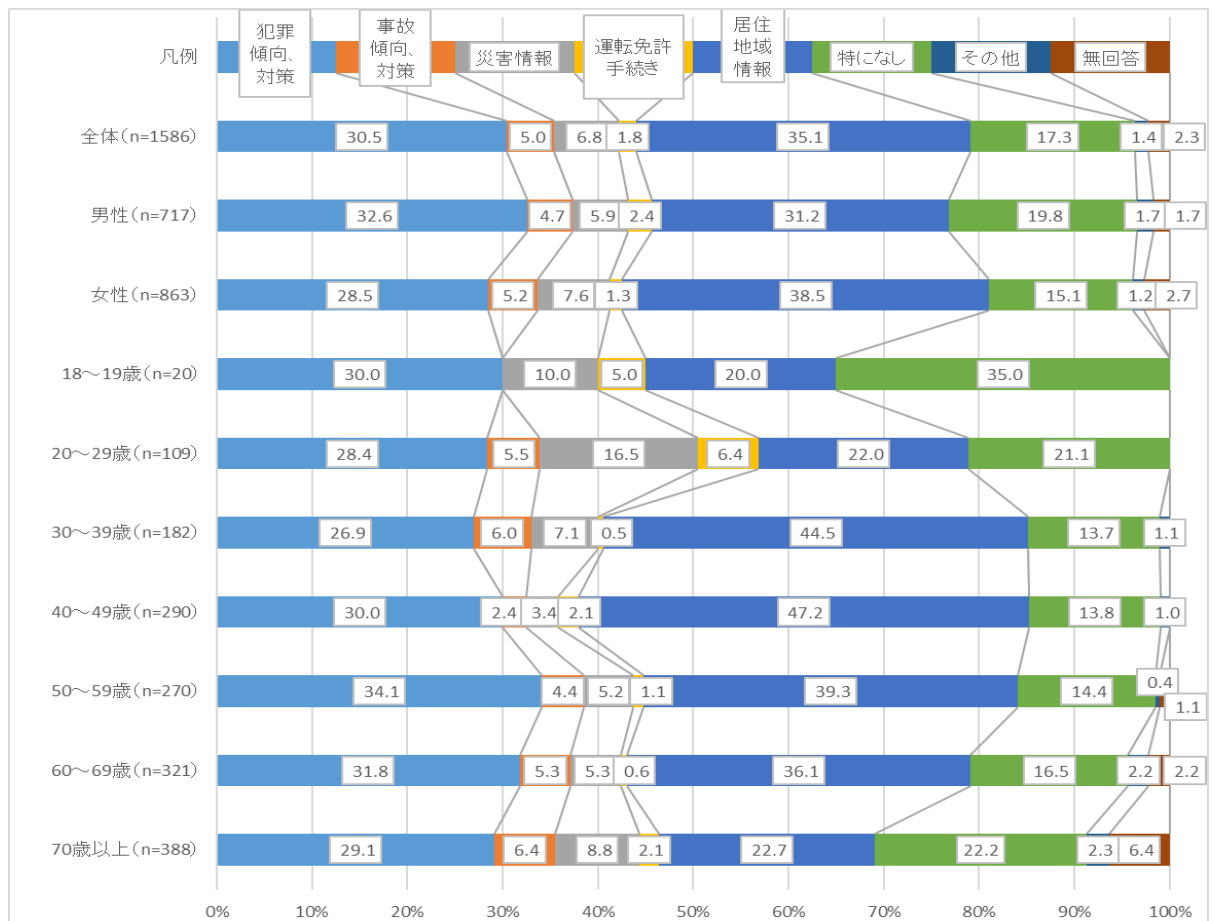


問24 巡回連絡で訪問する警察官に、特にどのような情報提供を期待しますか。

○巡回連絡～地域警察官が、担当する受け持ち区域を巡回し、一般家庭、事業所等を訪問することにより、犯罪の予防、災害事故の防止、その他住民の安全で平穏な生活を確保するために必要と認められる事項について指導連絡を行ったり、住民の意見、要望等の聴取等に当たることにより、住民との良好な関係を保持するとともに、受け持ち区の実態を掌握する活動。

- 全体で見ると、「居住地域情報」（「地域で発生している事件事故情報」）が35.1%と最も高く、次いで「犯罪傾向、対策」（「最近の犯罪の傾向や特徴、犯罪に遭わないための対策」）（30.5%）、「特になし」（「特にない、わからない」）（17.3%）の順となっている。
- 性別で見ると、男性では「犯罪傾向、対策」（「最近の犯罪の傾向や特徴、犯罪に遭わないための対策」）が32.6%と最も高く、女性では「居住地域情報」（「地域で発生している事件事故情報」）が38.5%と最も高くなっている。
- 年代別で見ると、10歳代では「特になし」（「特にない、わからない」）が最も高く、20歳代、70歳以上では「犯罪傾向、対策」（「最近の犯罪の傾向や特徴、犯罪に遭わないための対策」）が最も高く、30、40、50、60歳代では「居住地域情報」（「地域で発生している事件事故情報」）が最も高くなっている。

○巡回連絡の際、提供して欲しい情報



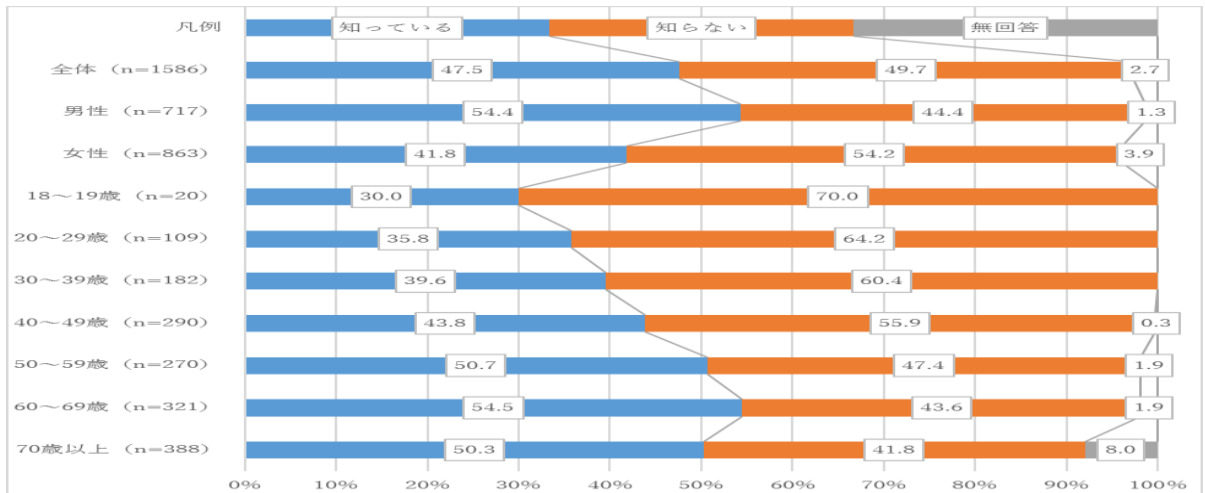
※凡例

- ・ 犯罪傾向、対策：最近の犯罪の傾向や特徴、犯罪に遭わないための対策
- ・ 事故傾向、対策：最近の交通事故の傾向や特徴、交通事故に遭わないための対策
- ・ 災害情報：災害発生時の応急措置や対応要領
- ・ 運転免許手続き：運転免許の更新や返納などの手続き
- ・ 居住地域情報：地域で発生している事件事故情報
- ・ 特になし：特にない、わからない

問25 地域警察官の勤務は、交番、駐在所、機動警ら係があることを知っていますか。

- 交 番～複数の地域警察官が、交番の拠点で24時間事件・事故等への対応、パトロール等をする勤務
 - 駐 在 所～地域警察官が、住居併設の駐在所を拠点に、昼間はパトロール等をし、夜間も交替で勤務
 - 機動警ら～複数の警察官が、警察署等を拠点に警察署管内の全地域を24時間パトカーに乗車してパトロール等をする勤務
- 全体で見ると、「知らない」が49.7%、「知っている」が47.5%となっている。
 - 性別で見ると、男性では「知っている」が54.4%と最も高く、女性では「知らない」が54.2%と最も高くなっている。
 - 年代別で見ると、10～40歳代で「知らない」が高く、そのうち10歳代が70.0%と最も高くなっている。50～70歳代以上では「知っている」が高く、そのうち60歳代が54.5%と最も高くなっている。

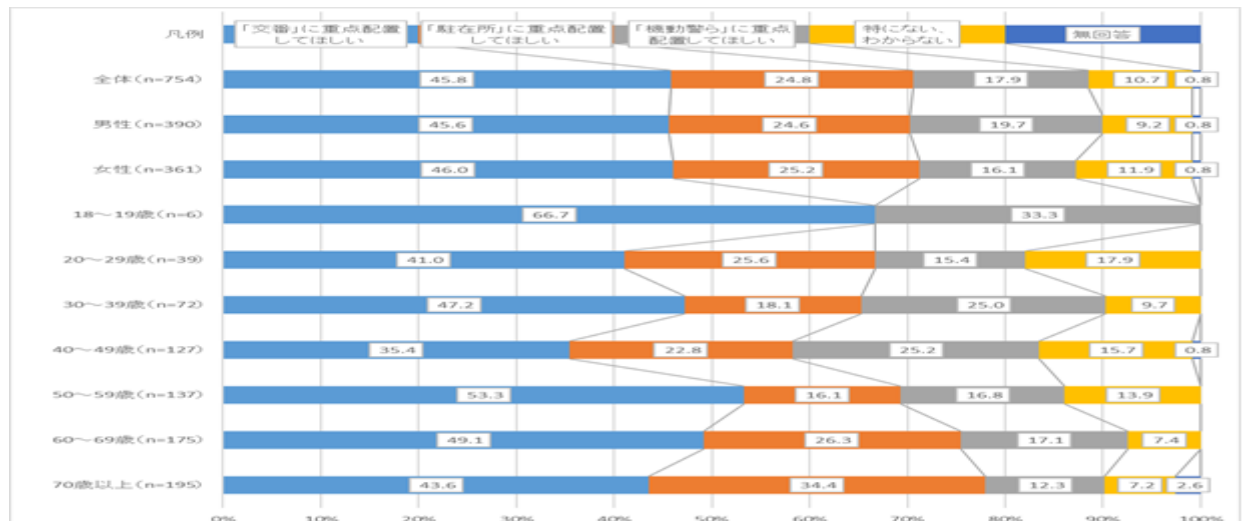
○全体（男女別、年齢別）



問26 地域警察官を重点的に配置するとしたら、どの勤務に配置してほしいですか。

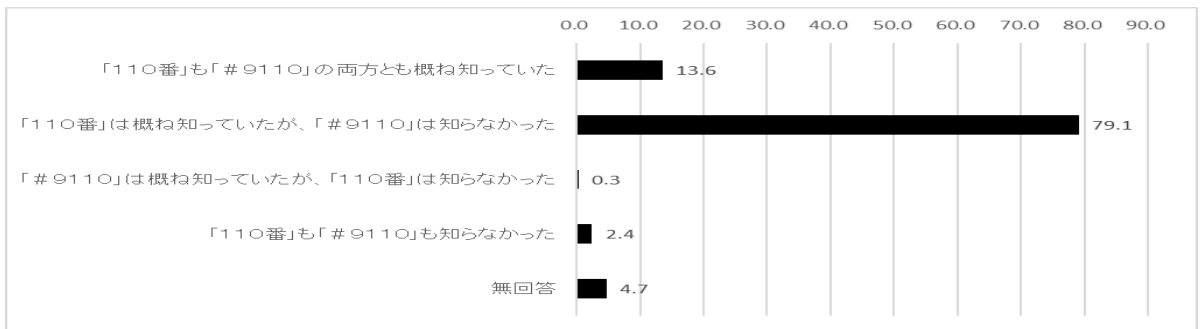
- 全体で見ると、「交番」に重点配置してほしいが45.8%と最も高く、次いで「駐在所」に重点配置してほしい(24.8%)、「機動警ら」に重点配置してほしい(17.9%)の順となっている。
- 性別で見ると、男女ともに「交番」に重点配置してほしいが最も高く、男性が45.6%、女性が46.0%で、女性が男性より0.4ポイント高くなっている。
- 年代別で見ると、いずれの年代においても「交番」に重点配置してほしいが最も高く、そのうち10歳代が66.7%と高くなっている。

○全体（男女別、年代別）



問27 「110番」は事件事故発生時などの緊急通報用の電話番号で、急を要しない相談や要望等については、警察安全相談「#9110」という電話番号で受け付けていることを知っていますか。

- 「110番」は概ね知っていたが、「#9110」は知らなかった」が79.1%と最も高く、次いで「110番」も「#9110」の両方とも概ね知っていた（13.6%）、「110番」も「#9110」も知らなかった（2.4%）の順となっている。

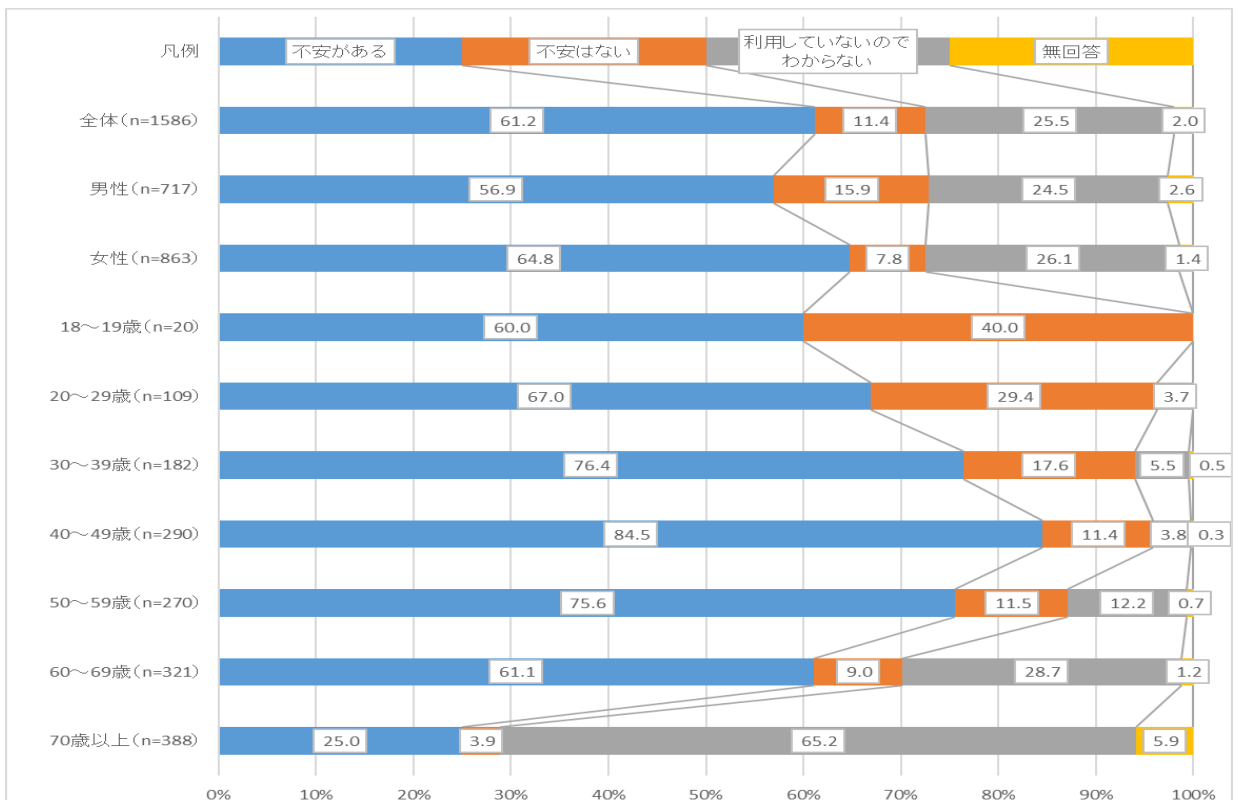


「110番」は、事件事故発生時などの緊急通報用の電話
「#9110」は、警察安全相談の専用ダイヤル

問28 インターネット利用に関するトラブルについての不安はありますか。

- 全体でみると、「不安がある」が61.2%と最も高く、次いで「利用していないのでわからない」（25.5%）、「不安はない」（11.4%）の順となっている。
- 性別でみると、男女ともに「不安がある」が最も高く、男性が56.9%、女性が64.8%で、女性が男性より7.9ポイント高くなっている。
- 年代別でみると、70歳以上を除くいずれの年代においても「不安がある」が最も高く、そのうち40歳代が84.5%と最も高くなっている。70歳以上では「利用していないのでわからない」が65.2%と最も高くなっている。

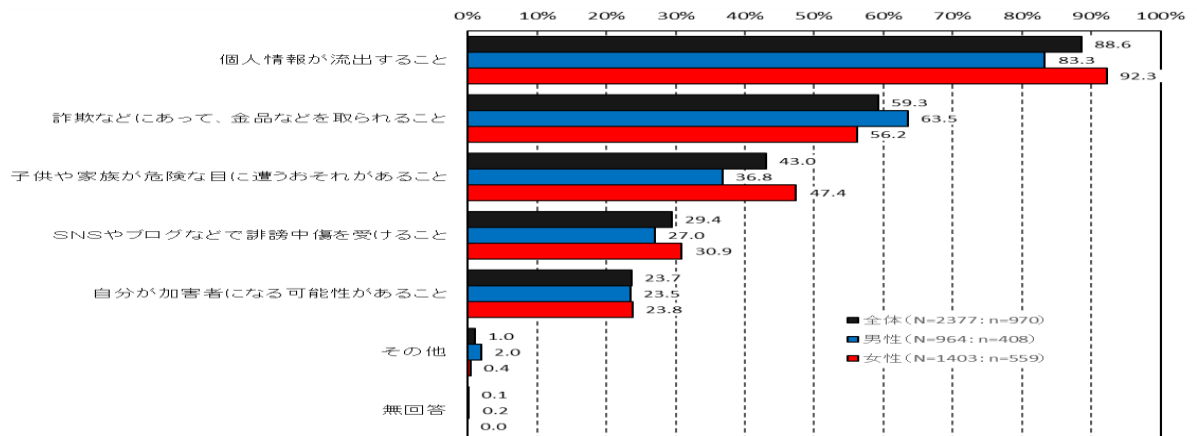
○全体（男女別、年齢別）



問29 「不安がある方」は、具体的にどのような不安を感じますか。(複数回答)

➤ 男女ともに「個人情報が流出すること」が最も高く、男性が83.3%、女性が92.3%で、女性が男性より9.0ポイント高くなっている。「詐欺などにあつて、金品などを取られること」では、男性が女性より7.3ポイント高くなっている。

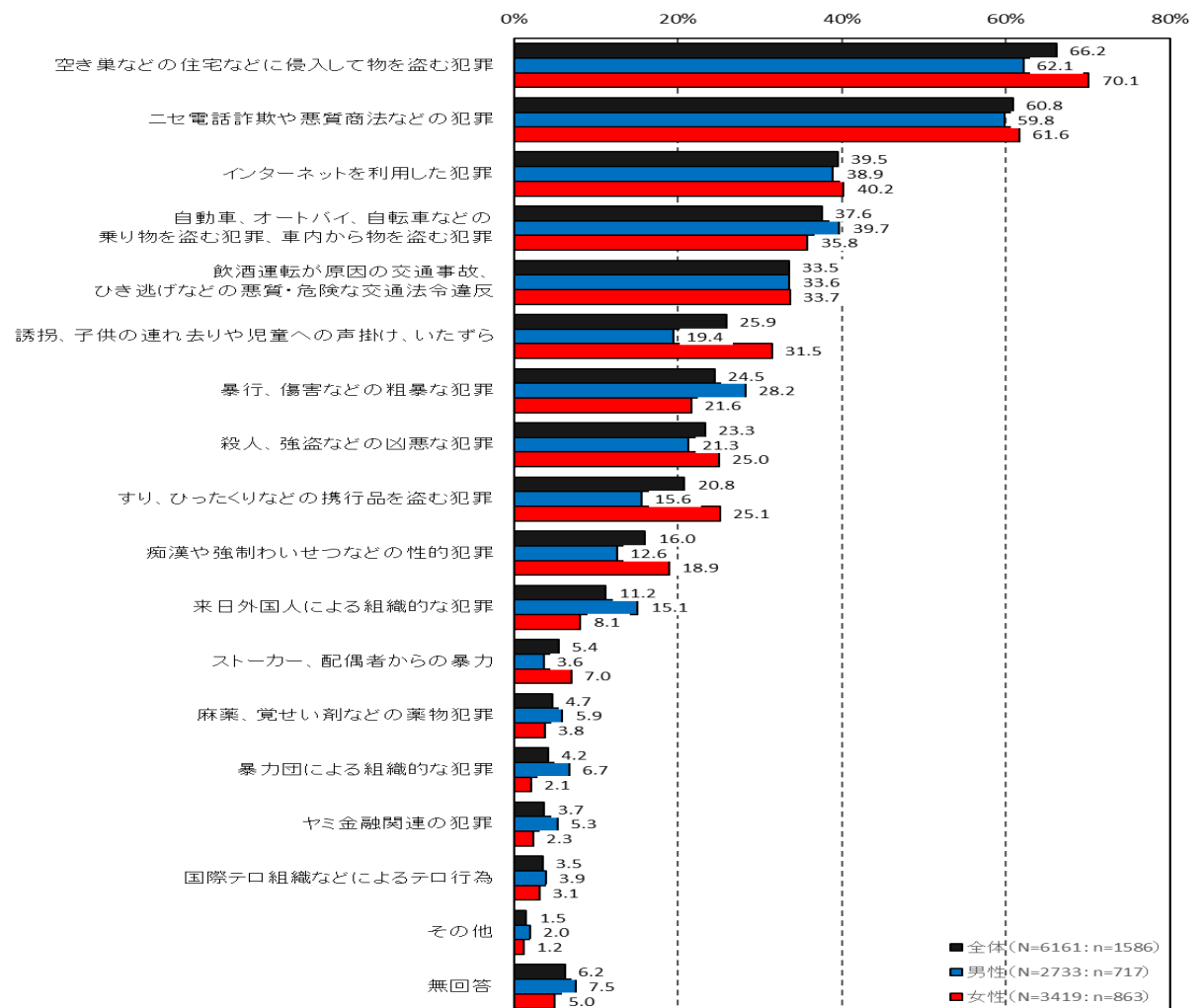
○全体 (男女別)



問30 あなた自身や身近な人が被害に遭うかもしれないと不安に思う犯罪は何ですか。(複数回答)

➤ 男女ともに「空き巣などの住宅などに侵入して物を盗む犯罪」が最も高く、男性が62.1%、女性が70.1%で、女性が男性より8.0ポイント高くなっている。「誘拐、子供の連れ去りや児童への声掛け、いたずら」では女性が男性より12.1ポイント高くなっている。

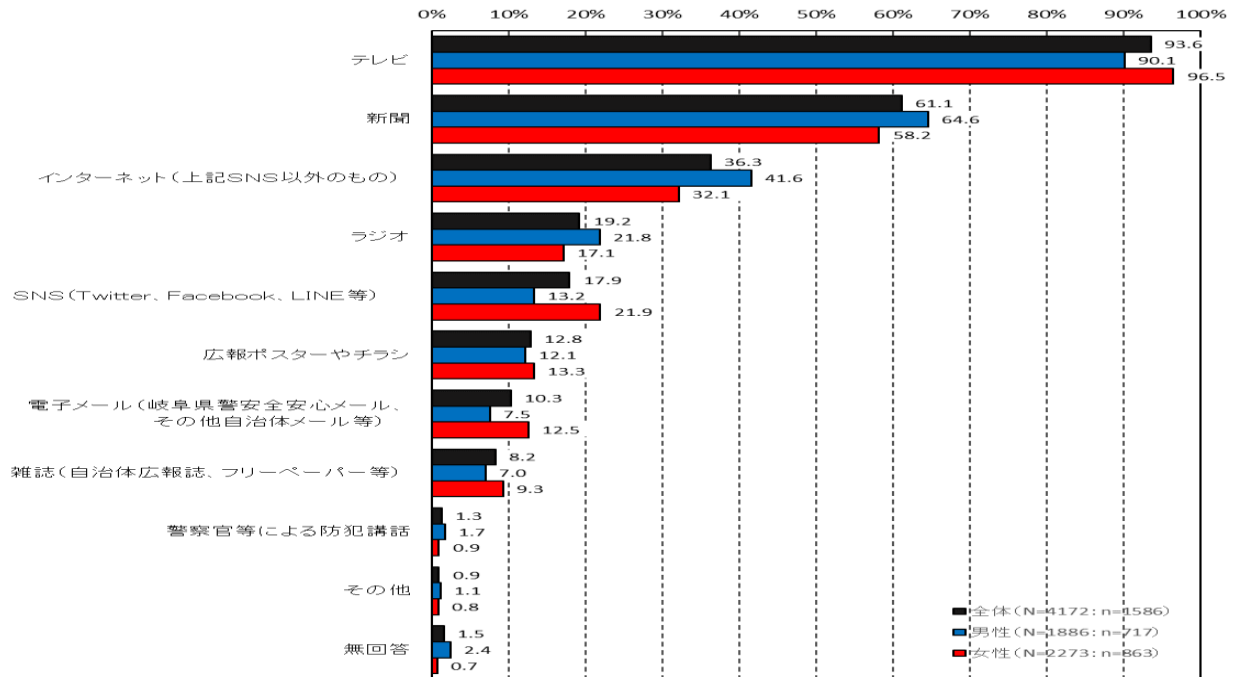
○全体 (男女別)



問31 犯罪の発生情報や防犯情報を入手する場合に利用している主なメディアは何ですか。
(複数回答)

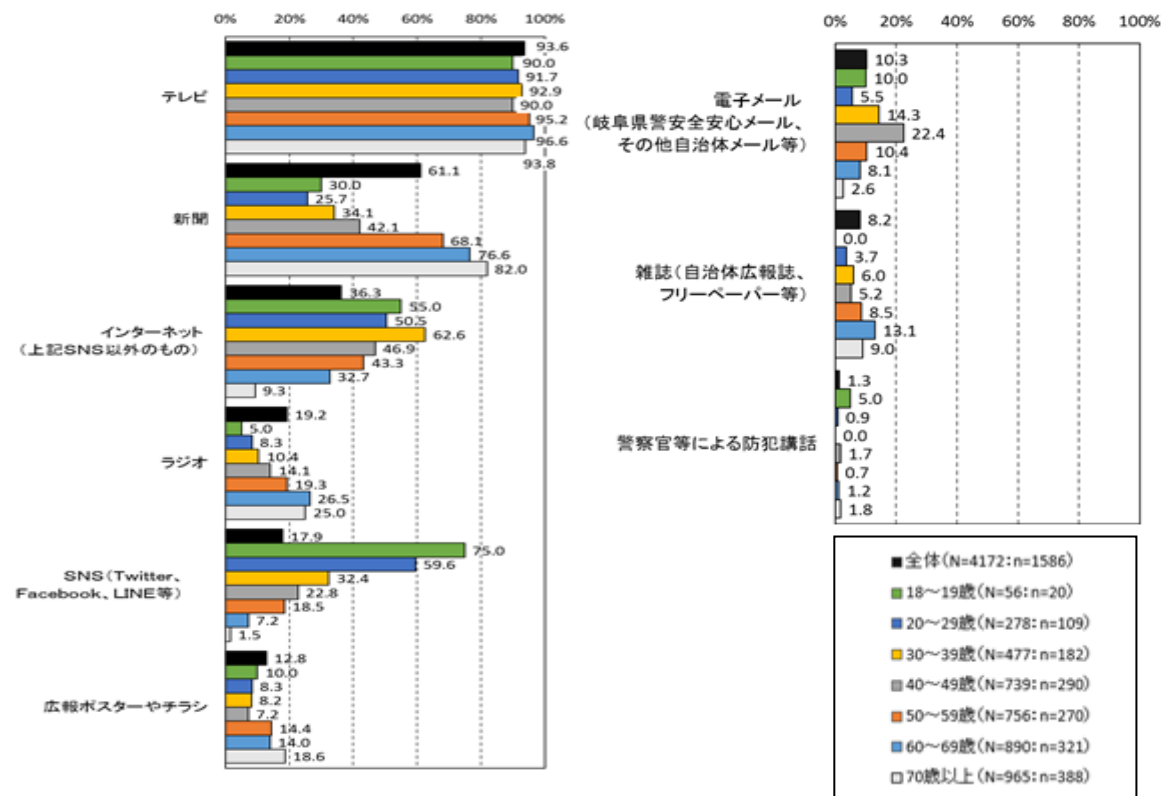
➤ 男女ともに「テレビ」が最も高く、男性が90.1%、女性が96.5%で、女性が男性より6.4ポイント高くなっている。「インターネット(上記SNS以外のもの)」では、男性が女性より9.5ポイント高くなっている。

○全体(男女別)



➤ いずれの年代においても「テレビ」が最も高く、そのうち60歳代が96.6%と最も高くなっている。「新聞」では70歳以上が82.0%と他の年代と比較して最も高く、「SNS(Twitter、Facebook、LINE等)」では10歳代が75.0%と最も高くなっている。

○全体(年代別)

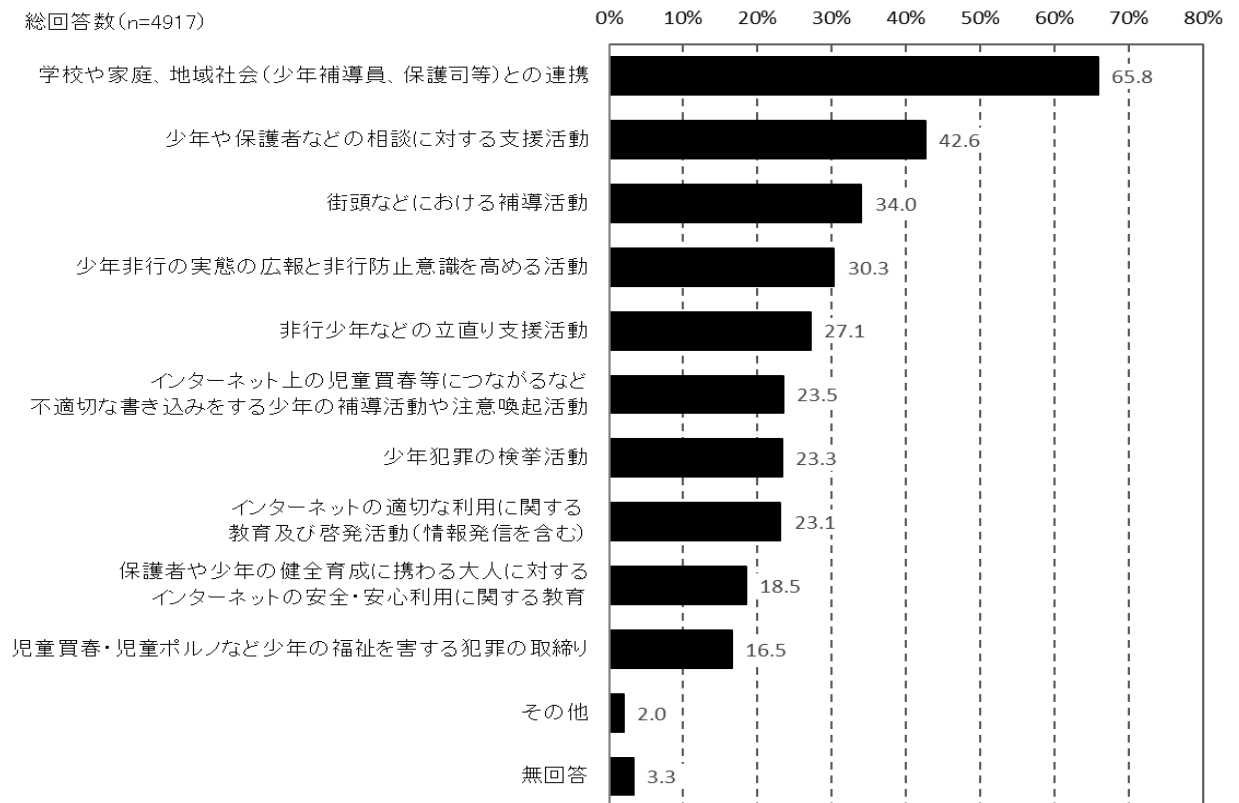


問32 少年の非行を防止する上で、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(複数回答)

- 「学校や家庭、地域社会（少年補導員、保護司等）との連携」が65.8%と最も高く、次いで「少年や保護者などの相談に対する支援活動」（42.6%）、「街頭などにおける補導活動」（34.0%）の順となっている。

回答者数(n=1586)

総回答数(n=4917)

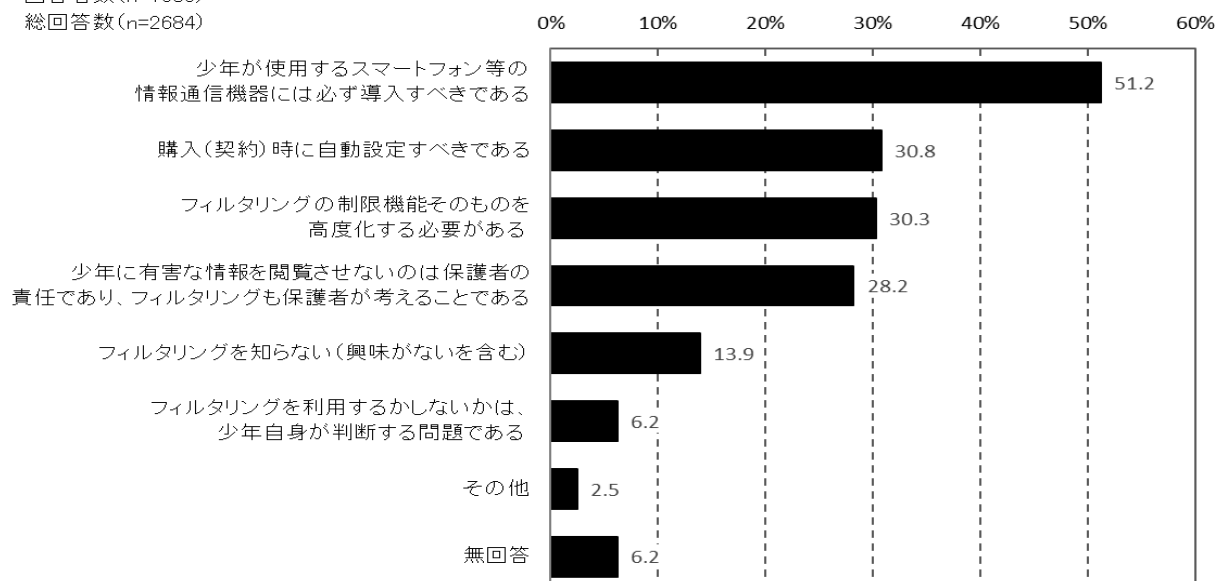


問33 フィルタリングについて、どのように考えていますか。(複数回答)

- 「少年が使用するスマートフォン等の情報通信機器には必ず導入すべきである」が51.2%と最も高く、次いで「購入(契約)時に自動設定すべきである」(30.8%)、「フィルタリングの制限機能そのものを高度化する必要がある」(30.3%)の順となっている。

回答者数(n=1586)

総回答数(n=2684)

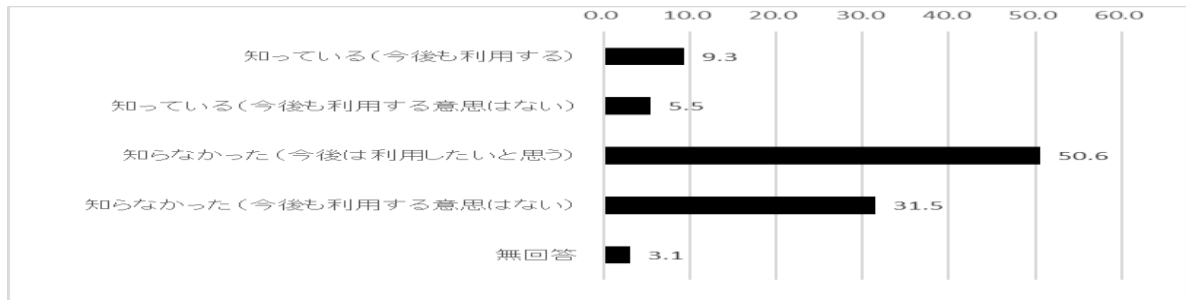


フィルタリングとは・・・

犯罪に関するサイトなど、不適切なサイトやアプリを利用できないようにブロックすること

問34 安全・安心メールを知っていますか。

➤ 「知らなかった（今後は利用したいと思う）」が50.6%と最も高く、次いで「知らなかった（今後も利用する意思はない）」（31.5%）、「知っている（今後も利用する）」（9.3%）の順となっている。



安心・安全メールは、

- ・声かけ事案や不審者の出没など、子どもと女性の安全に関する情報
- ・犯罪の発生、検挙に関する情報
- ・猟銃等の安全利用に関する情報
- ・県警からのお知らせ
- ・サイバー犯罪に関する情報
- ・交通安全に関する情報
- ・災害に関する情報
- ・警察イベント情報

等をタイムリーに提供します。

欲しい地域、情報を選択し、必要な情報のみの送信を選択することもできます。

現在の登録者数は、約 25,000 人です。

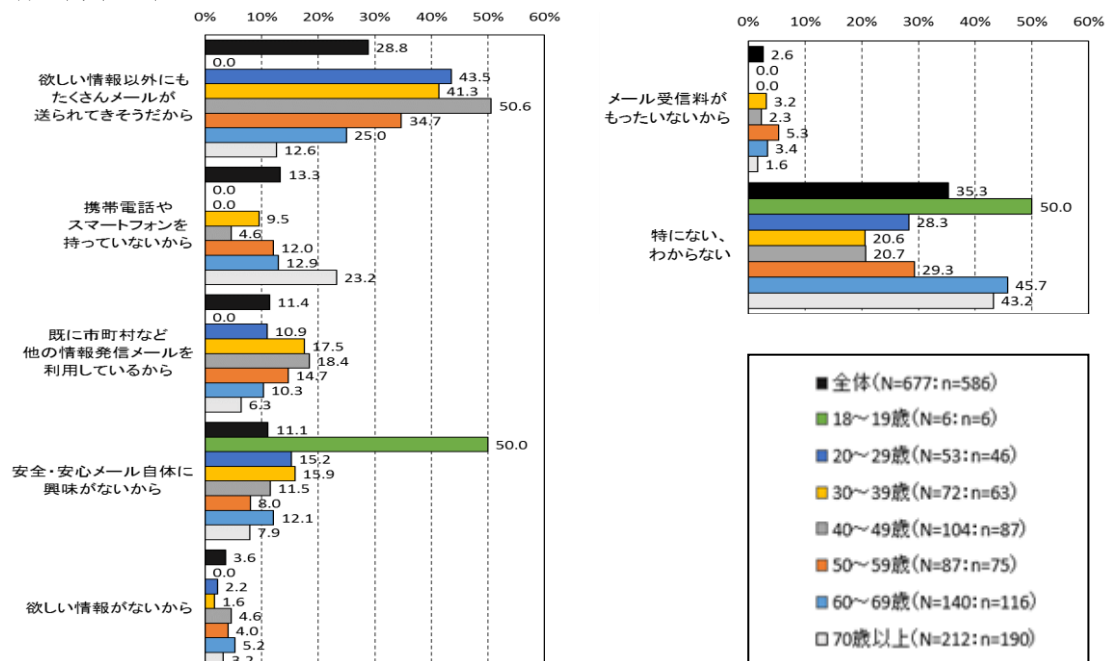


QRコード

問35 利用しないと回答された理由についてお答えください。(複数回答)

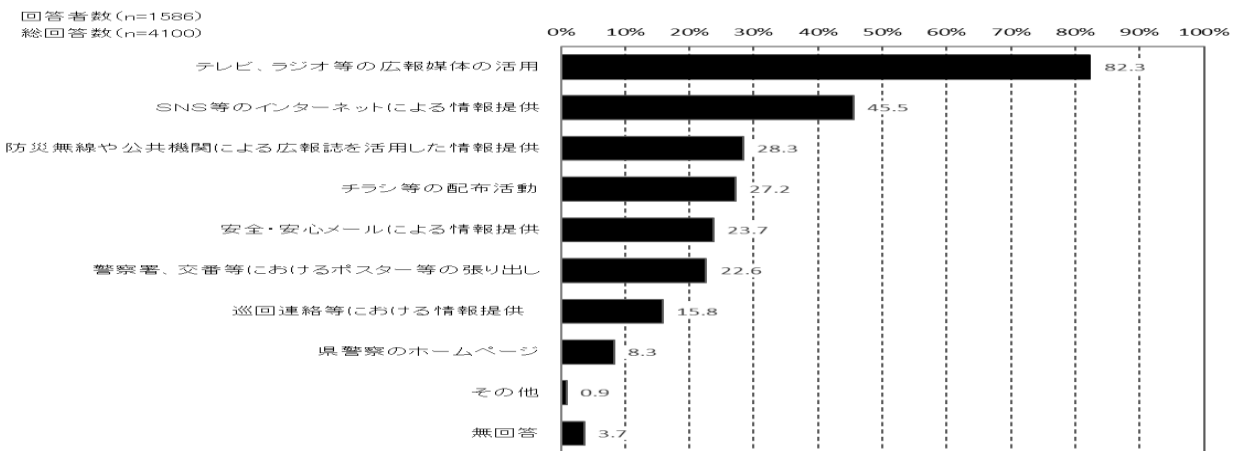
➤ 20～50歳代では「欲しい情報以外にもたくさんメールが送られてきそうだから」が最も高く、そのうち40歳代が50.6%と最も高くなっている。60～70歳以上では「特にない、わからない」が最も高くなっている。

○全体（年代別）



問36 指名手配犯人や未解決事件に関する情報提供について、どのような方法が有効だと思いますか。(複数回答)

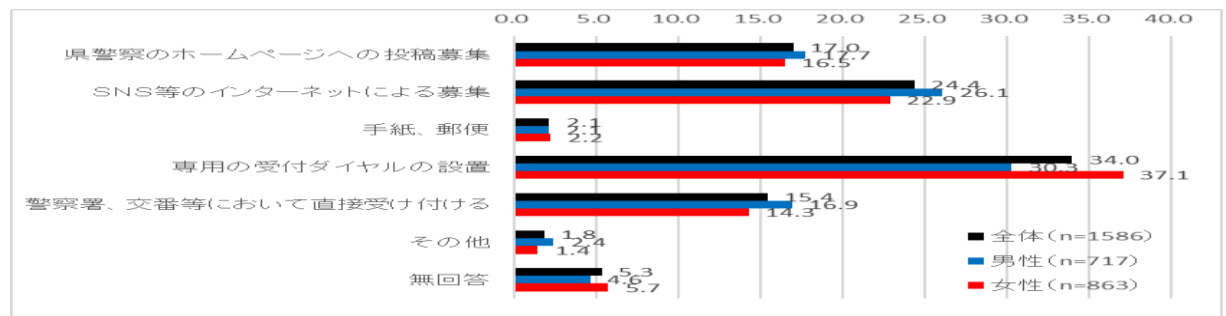
➤ 「テレビ、ラジオ等の広報媒体の活用」が82.3%と最も高く、次いで「SNS等のインターネットによる情報提供」(45.5%)、「防災無線や公共機関による広報誌を活用した情報提供」(28.3%)の順となっている。



問37 皆さんから警察へ情報をいただくためには、どのような方法が有効だと思いますか。

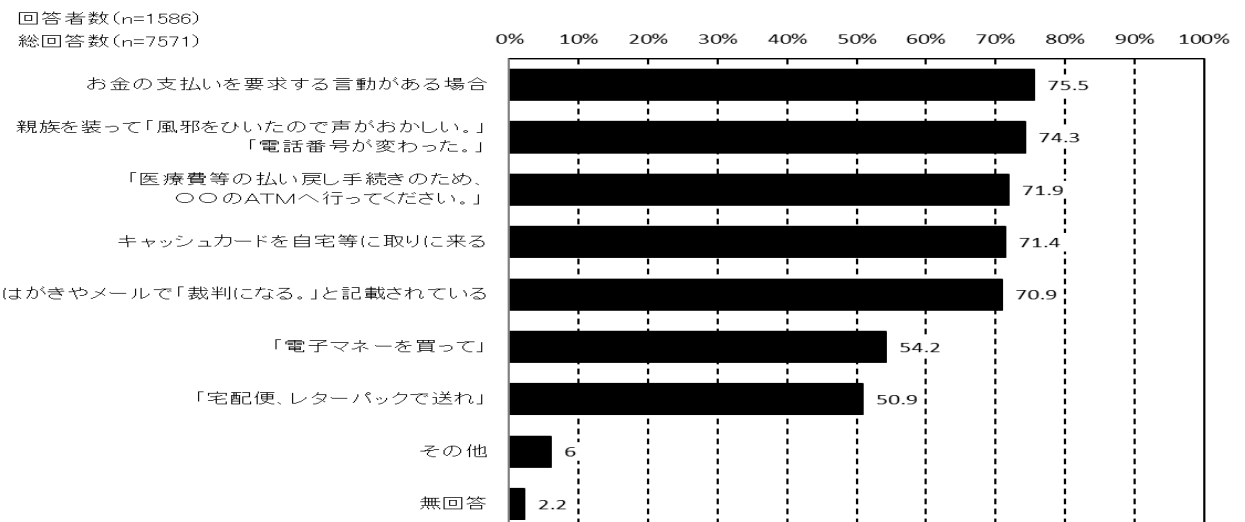
➤ 男女ともに「専用の受付ダイヤルの設置」が最も高く、男性が30.3%、女性が37.1%で、女性が男性より6.8ポイント高くなっている。

○全体 (男女別)



問38 ニセ電話詐欺の手口やニセ電話詐欺を見破るキーワードを知っていますか。(複数回答)

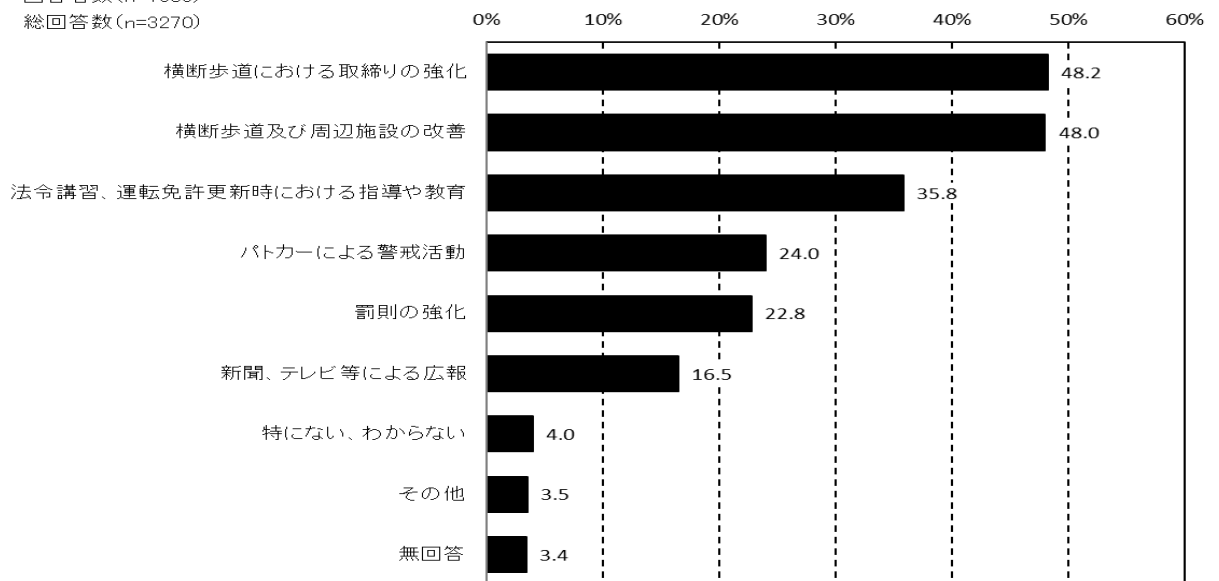
➤ 「お金の支払いを要求する言動がある場合」が75.5%と最も高く、次いで「親族を装って「風邪をひいたので声がおかしい。」「電話番号が変わった。」(74.3%)、「医療費等の払い戻し手続きのため、〇〇のATMへ行ってください。」(71.9%)の順となっている。



問39 横断歩道における交通事故を防ぐには、どのような対策が有効だと思いますか。(複数回答)

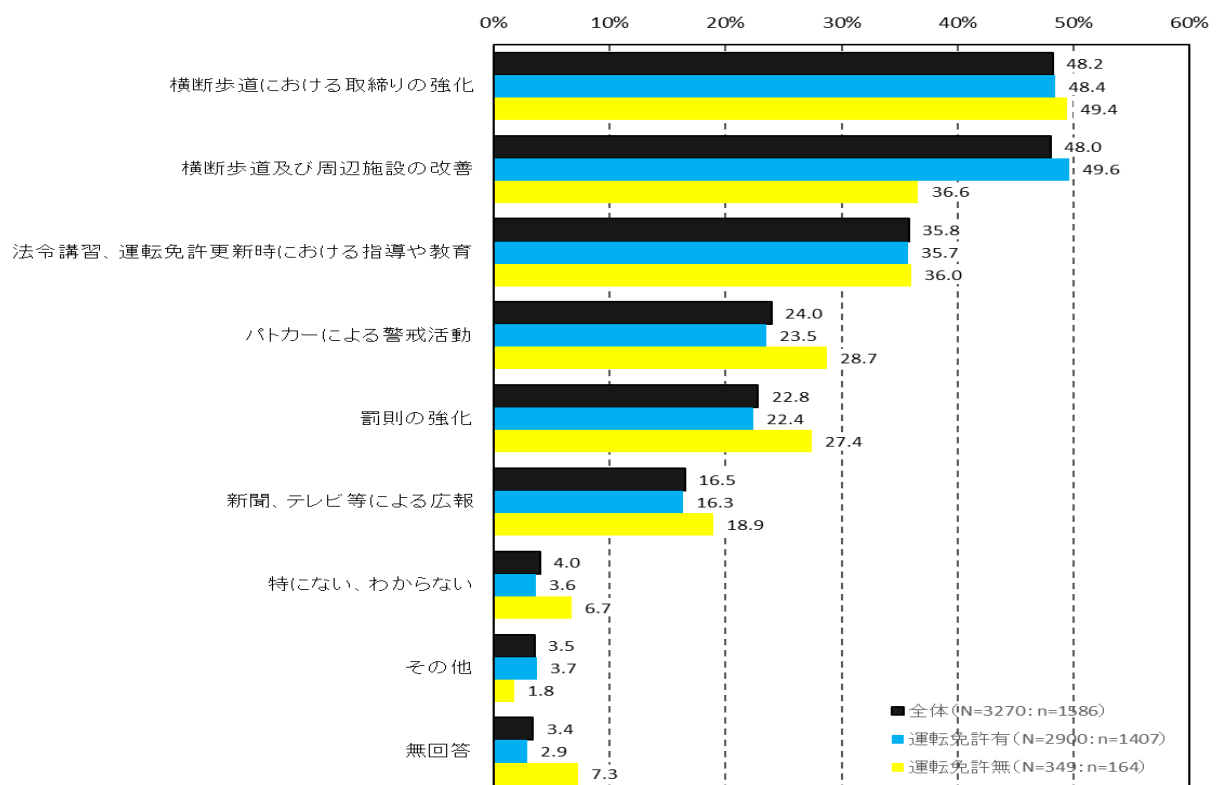
➤ 「横断歩道における取締りの強化」が48.2%と最も高く、次いで「横断歩道及び周辺施設の改善」(48.0%)、「法令講習、運転免許更新時における指導や教育」(35.8%)の順となっている。

回答者数(n=1586)
総回答数(n=3270)



○全体 (運転免許有無)

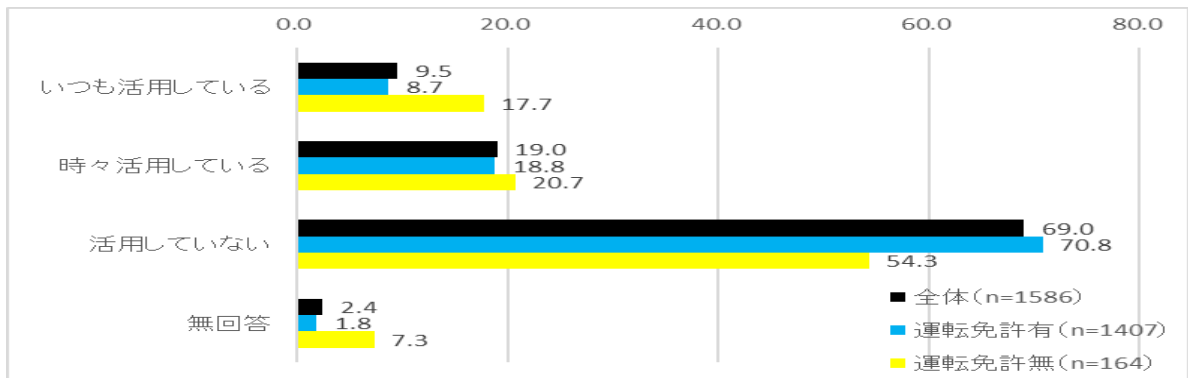
➤ 運転免許有では「横断歩道及び周辺施設の改善」が49.6%と最も高く、運転免許無では「横断歩道における取締りの強化」が49.4%と最も高くなっている。



問40 夜間の交通事故を防止するためには、反射材が有効ですが、反射材を活用していますか。

➤ とともに「活用していない」が最も高く、運転免許有では70.8%、運転免許無では54.3%と、運転免許有が無より16.5ポイント高くなっている。「いつも活用している」では運転免許無が有より9.0ポイント高くなっている。

○全体（運転免許有無）



○夜光タスキ



○反射材の効果（左側：夜間 右側：昼間）

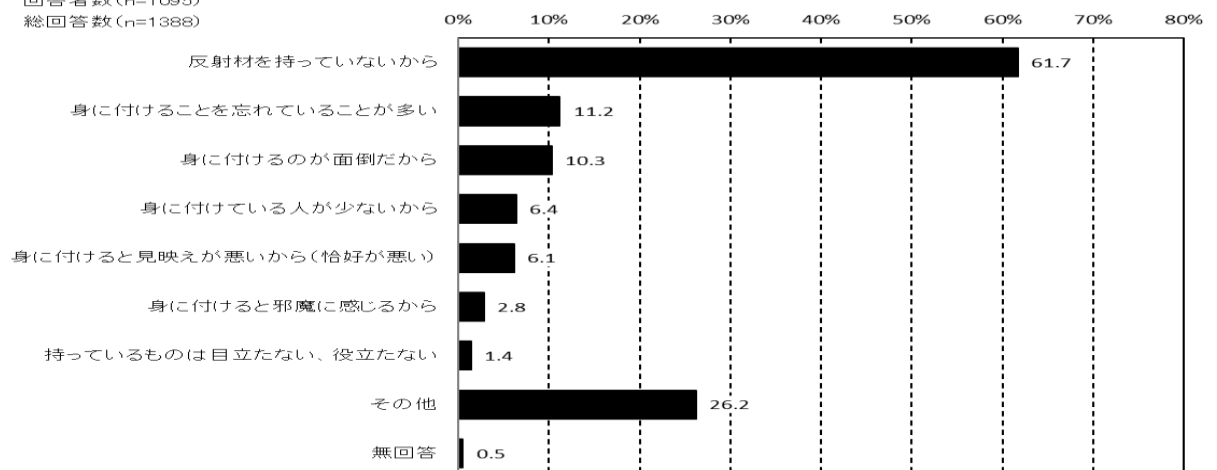


○蛍光キーホルダー

問41 活用していないのはなぜですか。（複数回答）

➤ 「反射材を持っていないから」が61.7%と最も高く、次いで「身に付けることを忘れていくことが多い」（11.2%）、「身に付けるのが面倒だから」（10.3%）の順となっている。

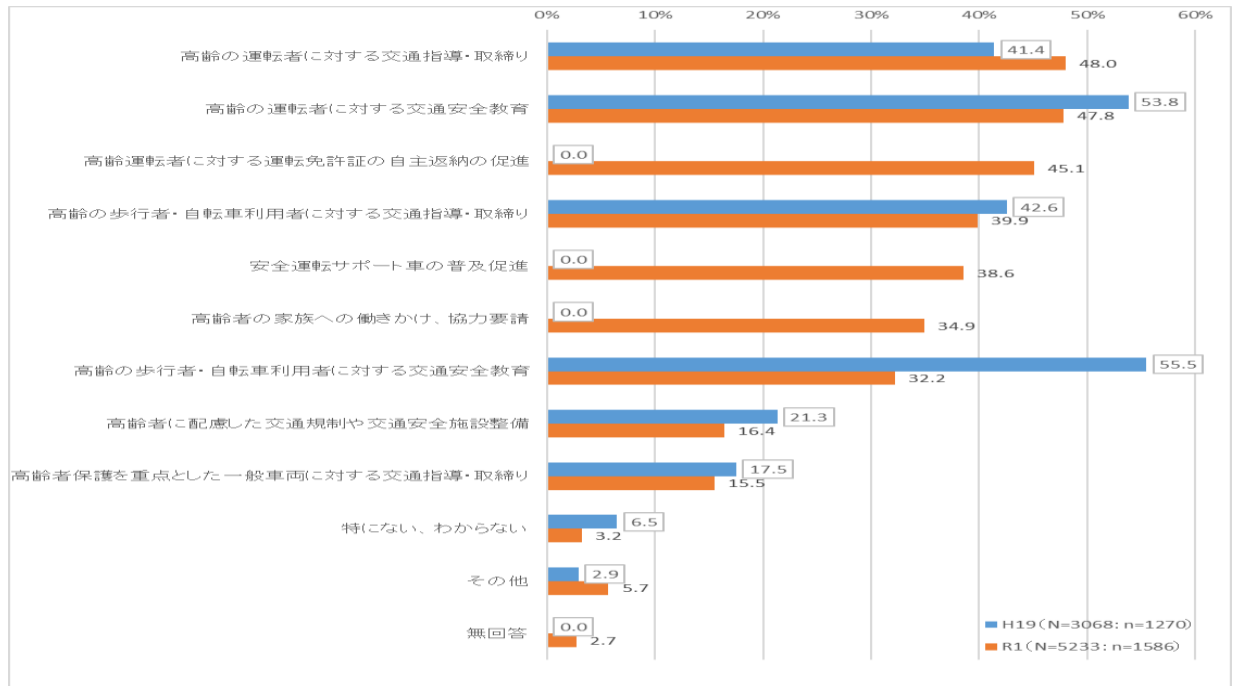
回答者数 (n=1095)
総回答数 (n=1388)



問42 高齢者の交通事故を防止するために、どのような対策が有効だと思いますか。(複数回答)

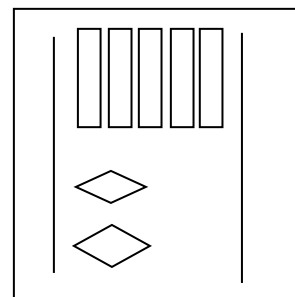
➤ 令和元年では平成19年に比べ、「高齢の運転者に対する交通指導・取締り」では6.6ポイント増加している。また、「高齢の運転者に対する交通安全教育」では6.0ポイント、「高齢の歩行者・自転車利用者に対する交通安全教育」では23.3ポイント減少している。

○全体(経年変化)



問43 菱形◇(ダイヤモンド)の意味を知っていますか。

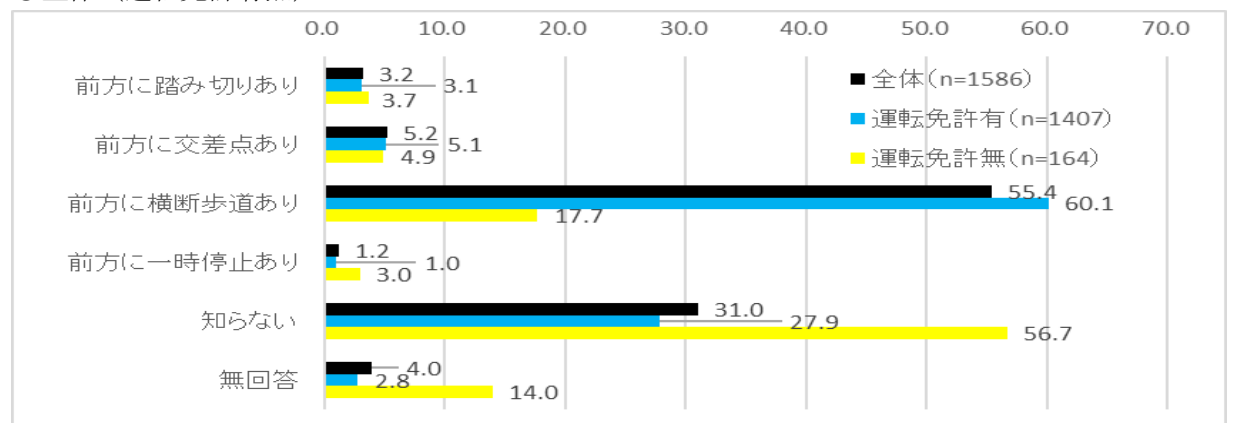
➤ 菱形◇(ダイヤモンド)は、信号交差点以外で「前方に横断歩道あり」を示す道路標示です。



※2つのダイヤモンドの先に横断歩道があります。

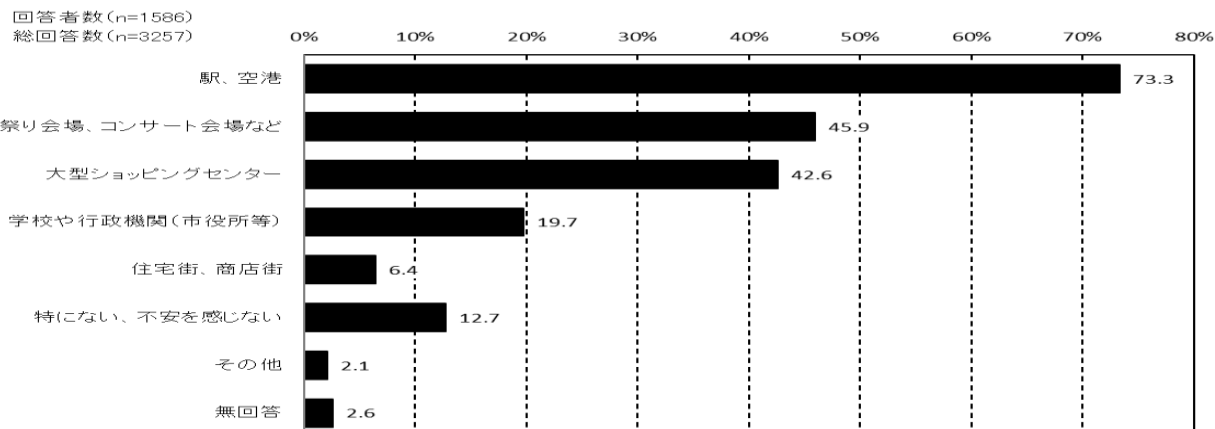
➤ 運転免許有では「前方に横断歩道あり」が60.1%と最も高く、運転免許無では「知らない」が56.7%と最も高くなっている

○全体(運転免許有無)



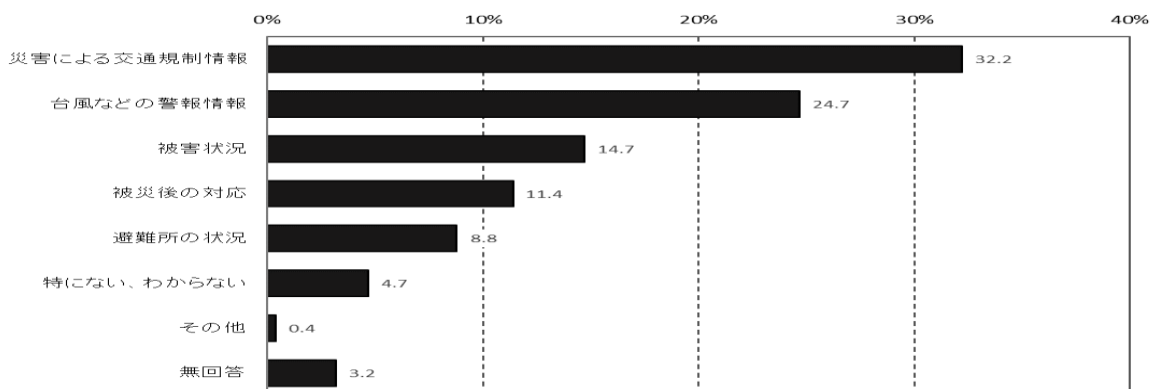
問44 日本国内のどのような場所でテロの不安を感じますか。(複数回答)

➤ 「駅、空港」が73.3%と最も高く、次いで「祭り会場、コンサート会場など」(45.9%)、「大型ショッピングセンター」(42.6%)の順となっている。



問45 県警察では、災害に関する情報を提供していますが、どのような情報を知りたいですか。

➤ 「災害による交通規制情報」が32.2%と最も高く、次いで「台風などの警報情報」(24.7%)、「被害状況」(14.7%)の順となっている。



現在の災害に関する提供方法

- 県警ホームページ：<https://www.pref.gifu.lg.jp>
- 安全・安心メール

問46 災害時、県警察に期待したい活動は何ですか。(複数回答)

➤ 「行方不明者の捜索、人命救助活動」が63.2%と最も高く、次いで「被災地の防犯パトロール」(62.5%)、「現場状況等の情報発信」(51.6%)の順となっている。

